Housetec
Living with ideas

システムキッチン エクセリア
取扱説明書

EXCELIA Lovee
EXCELIA・W

もくじ

1．部位と名称	
各部の名称	2
2．安全上のご注意	3～5
3．ご使用上のお願い	6～7
4．ご使用方法	
扉の調整方法	8
引出しのタイプ	9
引出し前板の調整方法	9
引出し（Aタイプ）の取外し、取付けをするには	10
引出し（Aタイプ）前板の調整方法	10～11
引出し（Bタイプ）の取外し、取付けをするには	11
引出し（Bタイプ）前板の調整方法	12
引出し（Cタイプ）の取外し、取付けをするには	12
引出し（Cタイプ）前板の調整方法	13
ギャラリー付引出し（B・Cタイプ）前板の調整方法	13
ダブルクロスギャラリー、ダブルデバイダーについて（Lovee 内引出し連動タイプのみ）	14
ダブルクロスギャラリーの取外し、取付けをするには（Lovee 内引出し連動タイプのみ）	14
ダブルデバイダーの取外し、取付けをするには（Lovee 内引出し連動タイプのみ）	15
ダブルボックスサイドの取外し、取付けをするには（Lovee 内引出し連動タイプのみ）	15
コンロ脇小引出し前板の調整方法（Lovee シリーズのみ）	16
内引出しについて（Lovee 内引出し連動タイプのみ）	16
棚板の高さを変えるには	17
ロック機構付きキャビネットについて	18
スイングダウンウォール付吊戸棚について	19～21
プルダウンラック付吊戸棚について	22～24
スイングアップステー付吊戸棚　扉の調整方法	24
フラップ吊戸棚について	25
大型引き戸付食器戸棚　扉の調整方法	26
家電品収納庫について	27
スリムスライドキャビネットについて	28
回転トレーについて	29
引出しトレーについて	29～30
洗剤カゴについて	31
5．お手入れ方法	
ステンレスシンク・ナノテクトコーティングシンク	31
人造大理石シンク	31
ステンレスワークトップ	32
人造大理石ワークトップ	32
メラミンカウンター・扉・キャビネット・引出しトレー・キッチンパネル	32
排水トラップ	33
コンロキャビネット	34
プルダウンラック付吊戸棚	34
6．点検方法	
水受けトレー・水受け容器	34
7．仕様	35
8．故障・異常の見分け方	35
9．保障・点検・修理のご案内	35
10．お問い合わせ窓口	36
11．保証書	36

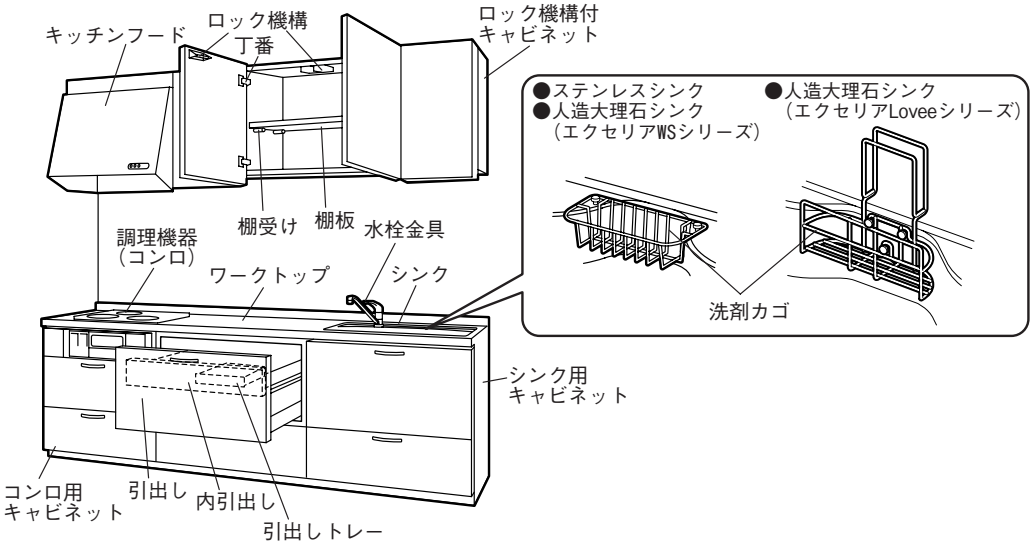
保証書在中

- このたびは、ハウステックシステムキッチンをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、調理機器・オプション機器の取扱説明書とともに、大切に保管して必要なときにご参照ください。
- この取扱説明書の巻末は、保証書になっています。
  保証書は、必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

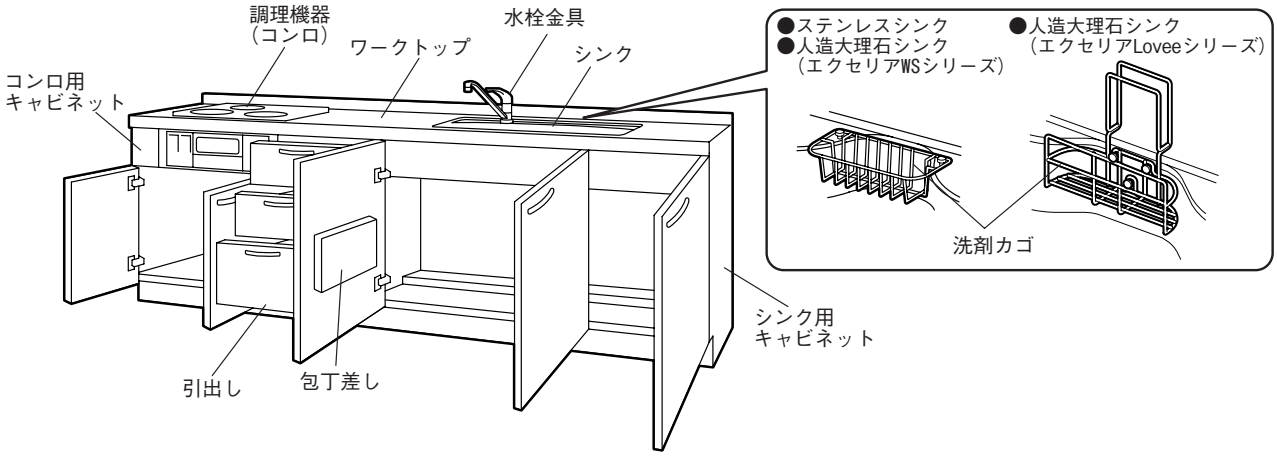
1．部位と名称

（1）各部の名称

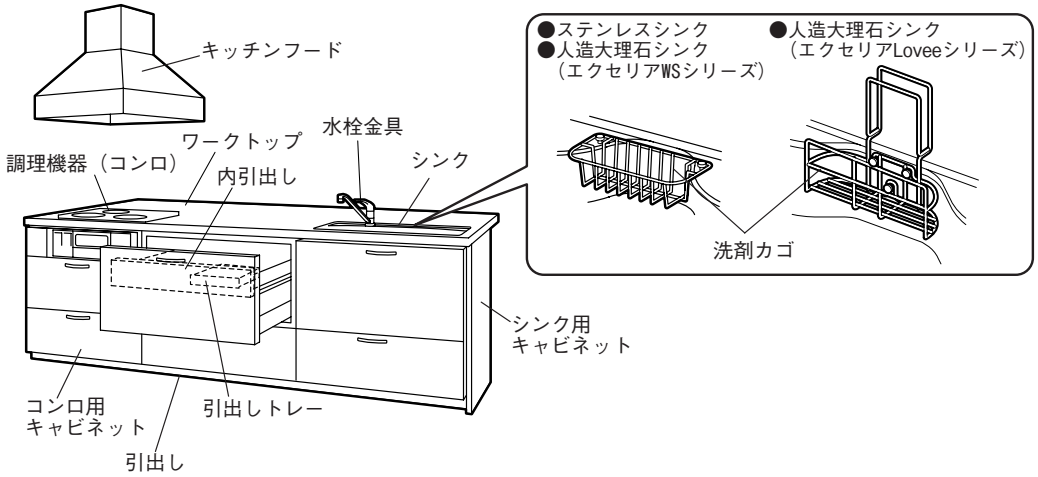
エクセリア Lovee・WS シリーズ（スライド収納タイプ）



エクセリア Lovee・ＷＳシリーズ（ノーマルタイプ）



エクセリア Lovee・WS シリーズ（ワイドカウンタータイプ）



2．安全上のご注意（必ずお守りください）

●ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や、家財の損害に結びつくものです。
安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。
●表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。
⚠ 注意	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

● お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。

	このような図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。
	このような図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

⚠ 警　告

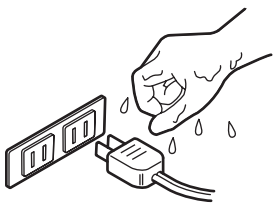
電源コンセントの表示容量（ワット）をこえる電気器具を使わない。

たこ足配線などで表示容量をこえると、発熱により火災の原因になることがあります。

組み込まれる機器･水栓金具などについては､それぞれの取扱説明書及び製品本体に表示されている事項を守る。

使い方を誤ると、思わぬ事故や、故障の原因になることがあります。

調理機器の上や周りには燃える物を絶対に置かない。



スイッチの切り忘れなどにより着火し、火災の原因になります。

調理機器の使用後やお出掛けの時はスイッチが「切」になっていることを確かめる。

周囲の可燃物に着火し、火災の原因になることがあります。

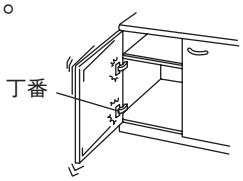
濡れた手でコンセントや電源プラグに触れない。

感電のおそれがあります。

2．安全上のご注意（必ずお守りください）

⚠ 注　意

扉が傾いたり、ガタついている時は、丁番のネジをしめなおす。



扉が落ちて、けがをするおそれがあります。
（扉の調整方法：8ページ参照）

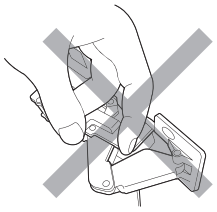
扉や取っ手にぶらさがらない。

扉がはずれて、けがをするおそれがあります。

扉を大きく開けすぎない。

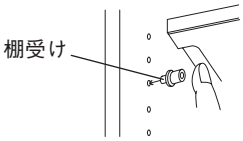
扉がはずれて、けがをするおそれがあります。

扉開閉時に、丁番にさわらない。



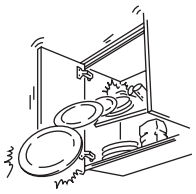
丁番に指を挟んでけがをするおそれがあります。
（特にお子様にはご注意ください。）

棚受けは確実に奥まで差し込む。



棚板が落下して、けがをするおそれがあります。
（棚板の高さの変え方：17 ページ参照）

棚板の上には、20 kg以上載せない。
（種類にもよりますが、直径 20cm 程度の皿（約 500 g ）を 40 枚までを目安としてください。但し、皿の材質、形状により異なります。）



載せているものが落ち、けがをするおそれがあります。

固形、粉末および液体の塩素系洗浄剤・漂白剤は、使ったり、近づけたりしない。

水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレス等の金属やゴムの腐食・劣化の原因になります。保管の場所や方法に十分注意してください。
その他の洗浄剤・漂白剤は使用上の注意をよく読んでご使用ください。

2．安全上のご注意（必ずお守りください）

⚠ 注　意

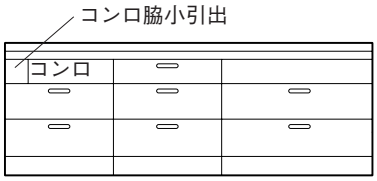
スライド式引出しに収納する物は、背の高さに注意する。

収納物が器具と接触し、ガス漏れ・水漏れや破損の原因になります。

引出しを開閉しようとするときは、足などを引出しと床の間に挟まないように注意する。

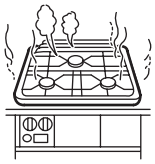
引出しに挟まれて、けがをするおそれがあります。

コンロ脇小引出しには２kg 以上収納しない。



引出しががはずれて、けがをするおそれがあります。

調理機器の使用中や使用直後は、調理機器周辺には手を触れない。



やけどのおそれがあります。

電気コンロ、ガスコンロなど熱源が露出する商品を使用しない。

キャビネットが過熱し、火災のおそれがあります。

鍋や鉄板を使う時はワークトップにはみださない。

ワークトップが過熱し、火災のおそれがあります。

スライドカウンターを引き出した状態で腰掛けたり寄りかかったりしない。

スライドカウンターが外れて、けがのおそれがあります。

スライドカウンターには熱い鍋、15kg 以上の重量物、包丁などを載せない。

やけど、けがのおそれがあります。

自分で改造しない。

思わぬ事故の原因になることがあります。

てんぷら油や多量の熱湯を直接排水口・シンクに流さない。

シンク裏の防滴材がはがれたり、排水器具などが変形し、水漏れの原因になることがあります。

包丁差しの固定ネジがゆるんでガタツキが発生したときは、ネジをしめ直すか、販売店に連絡する。

包丁差しが外れて、けがをするおそれがあります。

3．ご使用上のお願い

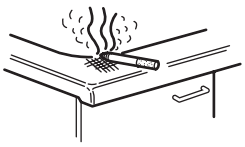
ワークトップ・シンク

塩分や油脂分の汚れを放置しないでください。

そのまま汚れを放置しておくとサビや変色の原因となりますので、
すぐに洗い流してください。

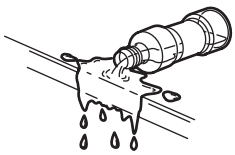
火のついたタバコを置かないでください。

タバコの火は変色の原因になります。



**うがい薬（ヨード系）、シンナー、マニキュアの除光液
などが付着した場合、放置しないでください。**

そのまま汚れを放置しておくと変色の原因になりますので、
すぐに拭き取った後、水で洗い流してください。



硫酸・塩酸系の強酸類や漂白剤は絶対に使用しないでください。

ワークトップやシンクを傷めるおそれがあります。

お手入れには台所用中性洗剤以外は使用しないでください。

変色したり、傷がつくおそれがあります。

ぬれた包丁や缶詰など鉄製のものを放置しないでください。

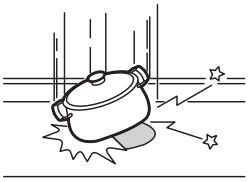
鉄製のものは水分があるとすぐサビます。
そのサビがもらいサビ及び変色の原因となります。

ワークトップやシンクの上で直接包丁を使わないでください。

傷がつくおそれがありますので、必ずまな板をご使用ください。

**ワークトップやシンクの上に乗ったり、硬い物を落としたり、
重い物を引きずらないでください。**

ワークトップやシンクが変形したり、傷がつくおそれがあります。

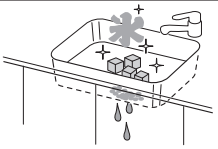


**Ｌ形人造大理石トップの接合部分に乗ったり、
重い物を乗せないでください。**

接合部分が割れることがあります。

シンク内に氷やドライアイスを長時間放置しないでください。

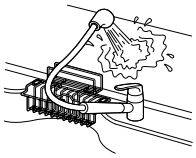
シンク裏面に結露が発生し、キャビネット庫内をぬらすおそれがあります。



3．ご使用上のお願い（続き）

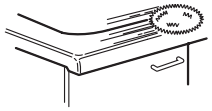
ワークトップ・シンク(続き)

ワークトップに水をかけないでください。



水が流れ落ちて扉や床がぬれてくさるおそれがあります。

金属タワシや、粒子の粗いクレンザーで擦らないでください。



傷がつくおそれがあります。

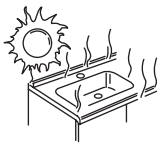
人造大理石にコゲ取り材(塩化メチレン系)は使用しないでください。

付着した場合、表面が変色することがあります。

ワークトップ（人造大理石およびステンレス）やシンクの上に直接熱いフライパンや鍋などを置かないでください。

ひび割れ、変色、ふくれや裏面補強材が劣化するおそれがあります。
必ず鍋敷き等をお使いください。

人造大理石は直射日光に当てないでください。



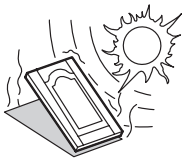
変色したり、つやがなくなるおそれがあります。

扉

火気を近付けないでください。

そりの原因になるばかりか、火災の原因となるおそれがあります。

直接日光をあてないでください。



そりや変色の原因となるおそれがあります。

お手入れに台所用中性洗剤以外は使用しないでください。

変色したり、つやがなくなるおそれがあります。

扉・キャビネット・サイドパネルに水がかかったら、乾いた布で拭き取ってください。

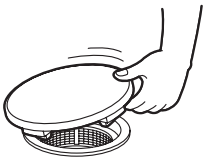
扉・キャビネットがふくれるおそれがあります。

ハミガキ、うがい薬などが付着したらその場ですぐに中性洗剤をつけたスポンジなどで洗い、水拭きをして洗剤分を拭き取り、から拭きをして仕上げてください。

放置すると変色・変質することがあります。

排水トラップ・シンク

エクセリア Lovee 用人造大理石シンクの排水口フタを着脱する際には、静かに行ってください。



排水トラップに傷が付くおそれがあります。

排水の流れが悪くなったら、バスケットを点検してください。

排水プレートを外して、野菜くずなどが詰まっていたら取り除いてください。

⚠ 注　意

●てんぷら油や多量の熱湯を直接排水口・シンクに流さない。

排水器具などが変形し、水漏れやシンク裏面の防滴材のハガレの原因になることがあります。

4．ご使用方法

扉の調整方法

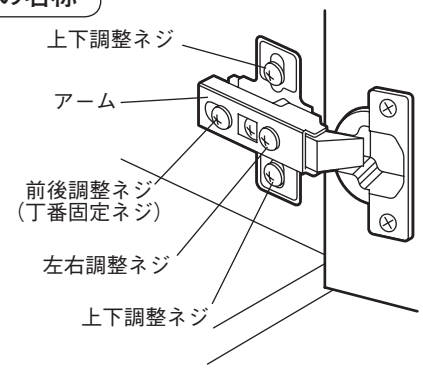
● 扉の調整は丁番で行うことができます。
調整する際は、プラスドライバーを使用して
以下の要領で行ってください。

⚠ 注　意

● ゆるめた調整ネジは、調整後に
しっかり締め付ける。

扉が外れて、けがをするおそれがあります。

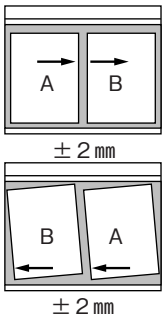
各部の名称



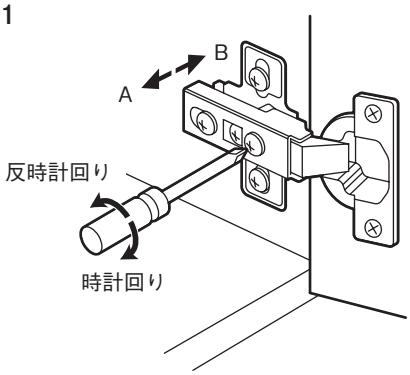
左右・傾きの調整方法（図－１）

左右調整ネジを回すことで調整が
行えます。
左右調整ネジを時計回りに回すと
扉がＢ方向に動き、反時計回りに
回すと扉がＡ方向に動きます。

※調整は必ず±２ｍｍまでとして
ください。

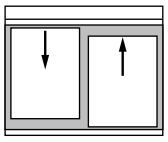


■図 - 1

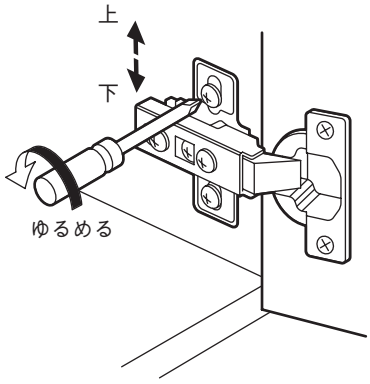


上下の調整方法（図－２）

２ヶ所の上下調整ネジをゆるめます。
扉を上下に動かして、扉の調整をします。
調整後はネジをしっかり締め付けてください。

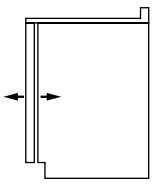


■図 - 2

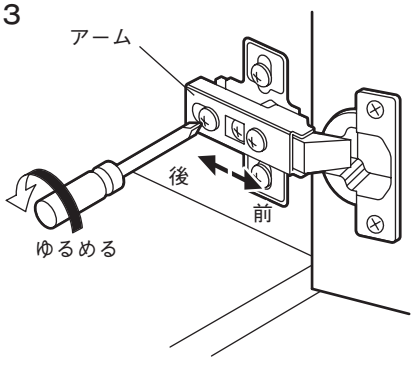


前後の調整方法（図－３）

前後調整ネジをゆるめます。
アームを前後に動かして、扉の調整をします。
調整後はネジをしっかり締め付けてください。

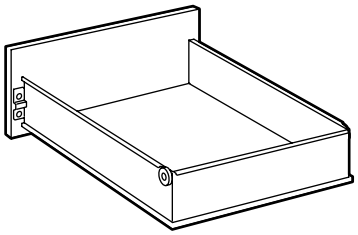


■図 - 3

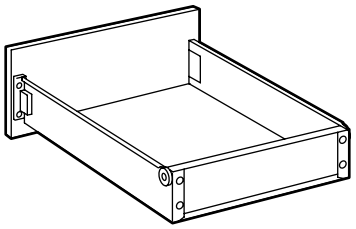


4．ご使用方法（続き）

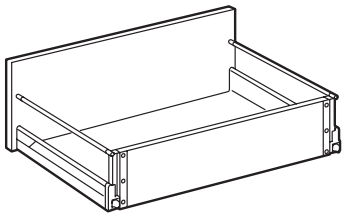
引出しのタイプ



Aタイプ
最大積載量：10 kg



Bタイプ
最大積載量：12 kg



Cタイプ
最大積載量：15 kg

引出し前板の調整方法

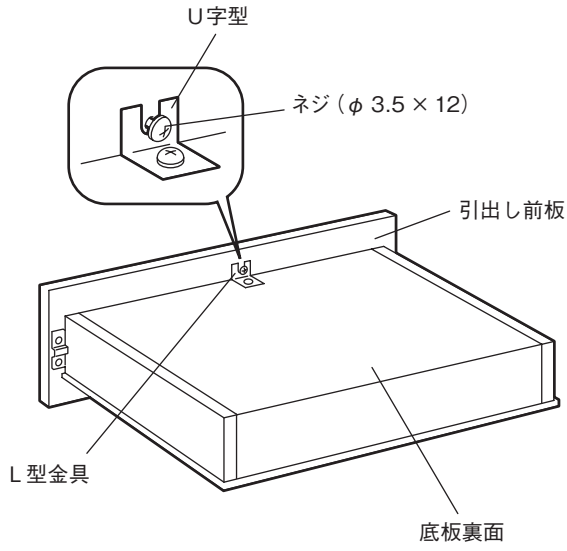
引出し前板の調整は、各タイプの調整方法に従って調整を行ってください。

B・Cタイプの間口 60cm 以上の場合

引出し前板を調整する前に、引出し底板に取付けてあるネジ（右図）をゆるめてから前板の調整を行ってください。

※ 調整方法は 11、13 ページ参照

調整後は、ネジを締め付けてください。



引出しB・Cタイプの間口 60cm 用以上のみ

4．ご使用方法（続き）

引出し（Aタイプ）の取外し、取付けをするには

● 引出しの取外し、取付けをする際は以下の要領で行ってください。

取外し方法（図－1）

① 引出しを引き出すとローラーがストッパーに当たります。
② ストッパーに当たりましたら、引出しを上に持ち上げます。
③ 引出しを手前に引き出します。

⚠ 注　意

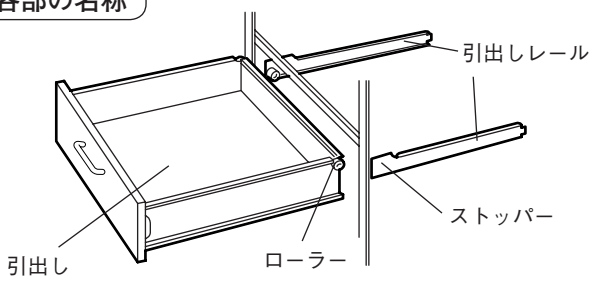
●取り外す際には引出し内の収納物をすべて出し、必ず引出しに両手を添えて取り外す。

引出しや収納物が落下して、けがをするおそれがあります。

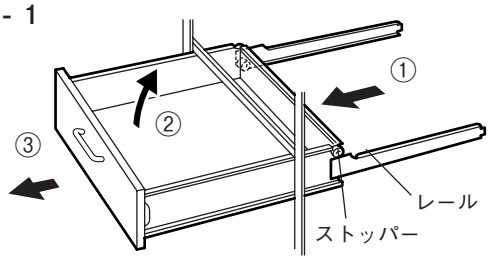
取付け方法（図－2）

① 引出しを両手で持ち、ローラーを引出しレールに差し込みます。ななめ上から落とし込むようにするとうまく入ります。
② ストッパーが引出しレール側のローラーを乗り越えたら、引出しを水平にします。
③ 水平に押し込みます。

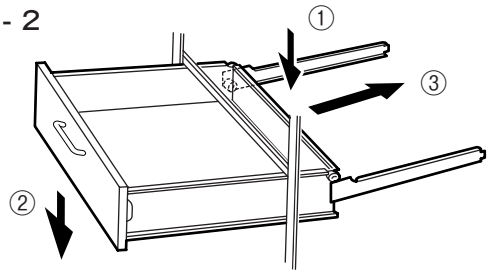
各部の名称



■図 - 1



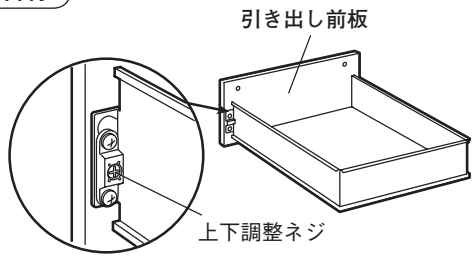
■図 - 2



引出し（Aタイプ）前板の調整方法（高さの低い引き出しの場合）

引出しの前板の調整は、右図の上下調整ネジを回して行うことができます。
上下調整ネジは左右にあります。
調整する際は、プラスドライバーを使用して以下の要領で行ってください。

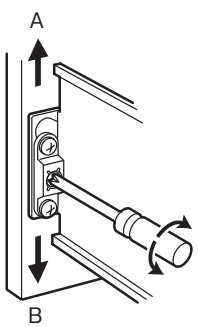
各部の名称



上下の調整方法（図－1）

左右の上下調整ネジを回して調整を行います。
上下調整ネジを時計回りに回すと引出し前板がB方向に動き、反時計回りに回すと引出し前板がA方向に動きます。

■図 - 1

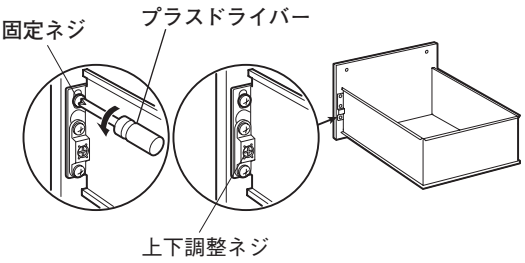


4．ご使用方法（続き）

引出し（Aタイプ）前板の調整方法（高さの高い引き出しの場合）

引出しの前板の調整は、右図の上下調整ネジを回して行うことができます。
上下調整ネジは左右にあります。
調整する際は、プラスドライバーを使用して以下の要領で行ってください。

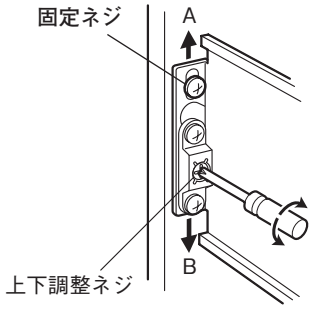
各部の名称



上下の調整方法（図－１）

① 固定ネジをゆるめます。
② 左右の上下調整ネジを回して調整を行います。上下調整ネジを時計回りに回すと引出し前板がＢ方向に動き、反時計回りに回すと引出し前板がＡ方向に動きます。
③ 調整後は固定ネジをしっかり締め付けてください。

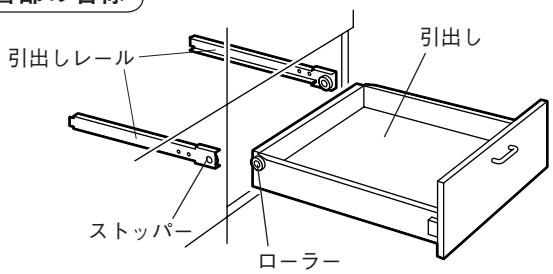
■図 - 1



引出し（Bタイプ）の取外し、取付けをするには

● 引出しの取外し、取付けをする際は以下の要領で行ってください。

各部の名称



取外し方法（図－１）

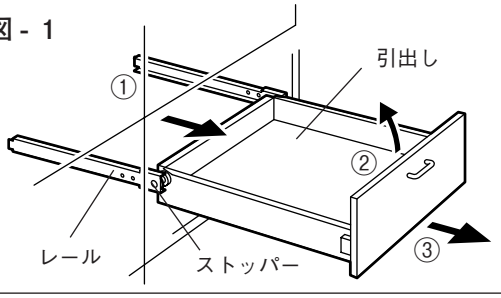
① 引出しを引き出すとローラーがストッパーに当たります。
② ストッパーに当たりましたら、引出しを上に持ち上げます。
③ 引出しを手前に引き出します。

⚠ 注　意

●取り外す際には引出し内の収納物をすべて出し、必ず引出しに両手を添えて取り外す。

引出しや収納物が落下して、けがをするおそれがあります。

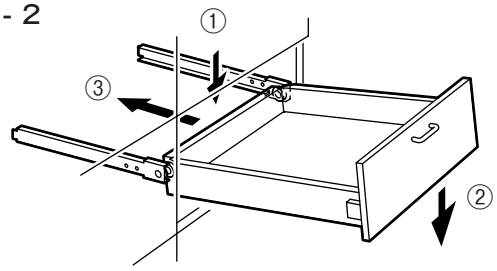
■図 - 1



取付け方法（図－２）

① 引出しを両手で持ち、ローラーを引出しレールに差し込みます。ななめ上から落とし込むようにするとうまく入ります。
② ストッパーが引出しレール側のローラーを乗り越えたら、引出しを水平にします。
③ 水平に押し込みます。

■図 - 2



4．ご使用方法（続き）

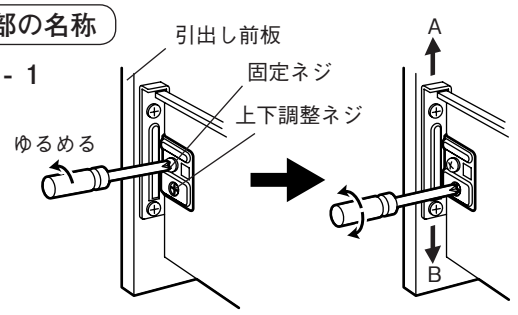
引出し（Bタイプ）前板の調整方法

上下の調整方法（図－1）

① 固定ネジをゆるめます。
② 上下調整ネジを時計回りに回すと引出し前板がB方向に動き、反時計回りに回すと引出し前板がA方向に動きます。
③ 調整後は固定ネジをしっかり締め付けてください。

各部の名称

■図 - 1

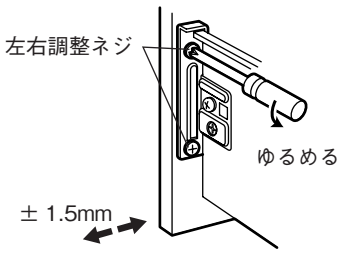


※上下調整ネジは左右両方の引出しレールについています。

左右の調整方法（図－2）

① 左右両方の左右調整ネジをゆるめ、前板を左右に調整してください。
② 調整後は、左右調整ネジをしっかり締め付けてください。

■図 - 2



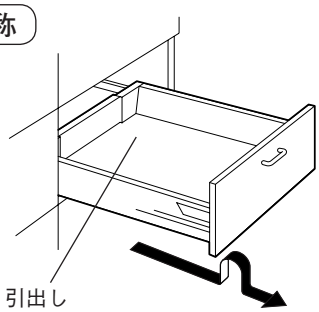
引出し（Cタイプ）の取外し、取付けをするには

引出しの取外し方法（図－1）

① 引出しをいっぱいまで引いてください。
② 少し上に持ち上げて､引いて取り外してください。

各部の名称

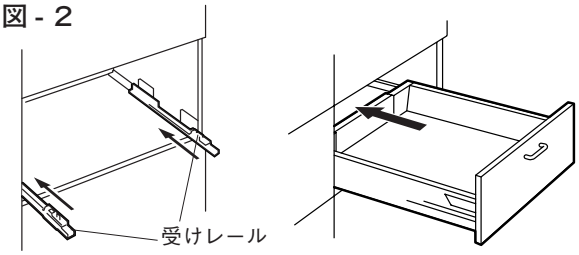
■図 - 1



引出しの取付け方法（図－2）

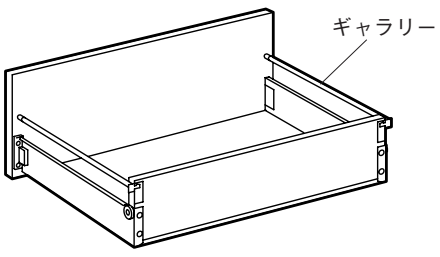
① 受けレールを奥まで入れてください。
② 引出しを受レールに乗せてください。
③ カチャッと音がするまで引出しを押し込んでください。

■図 - 2



ギャラリー付引出し（B・Cタイプ）の取外し、取付けをする際には、ギャラリーを持たないでください。（図－3）

■図 - 3



⚠ 注　意

● ギャラリーを持たない。

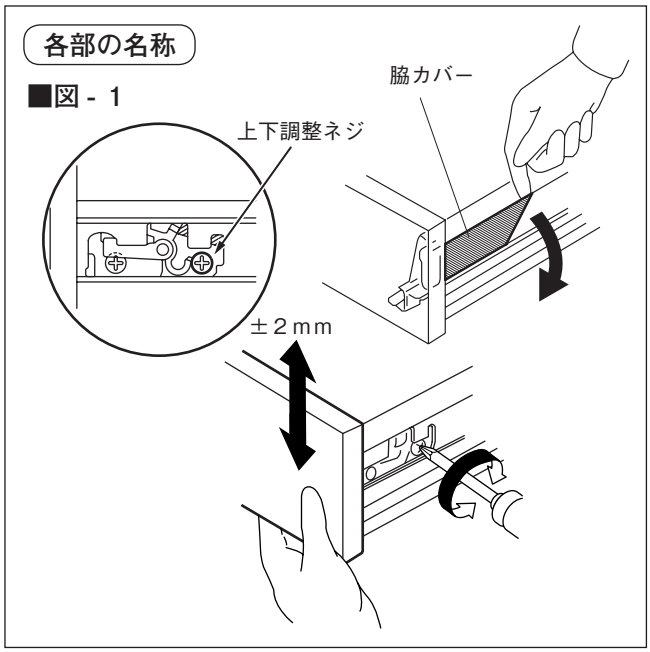
ギャラリーが外れて引出しが落下し、けがのおそれがあります。

4．ご使用方法（続き）

引出し（Cタイプ） 前板の調整方法

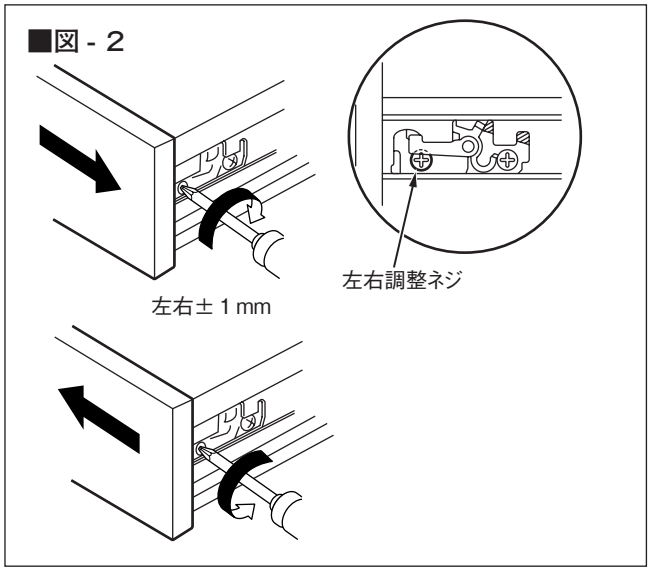
上下の調整方法（図－1）

① 脇カバーを取り外してください。
外す際は上から下に押すようにしてください。
② プラスドライバーで上下調整ネジを回すだけで上下調整できます。
※ 上下調整ネジは一方向に回し続けると上下動（±2mm）をくり返します。



左右の調整方法（図－2）

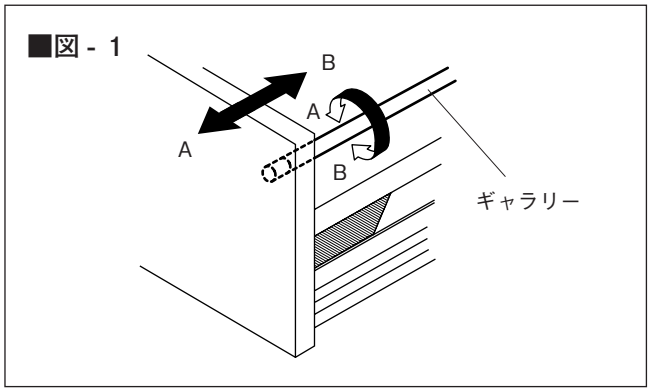
① 左右調整ネジを回して、前板を左右に調整してください。
② 必ず左右両側の調整を行ってください。



ギャラリー付引出し（B・Cタイプ） 前板の調整方法

前後の調整方法（図－1）

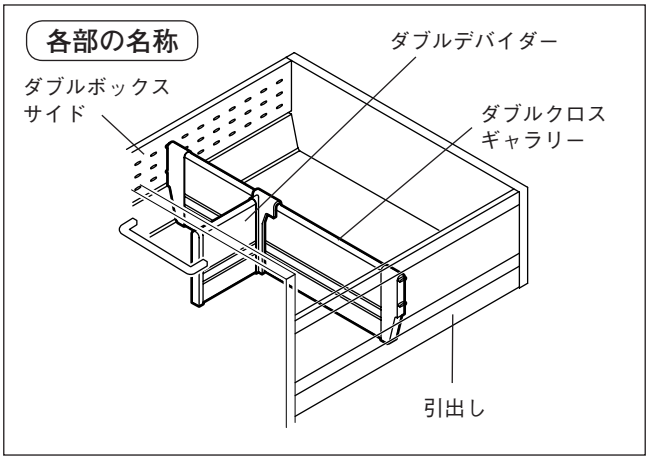
① ギャラリーを回して、前板を前後に調整してください。



4．ご使用方法（続き）

ダブルクロスギャラリー、ダブルデバイダーについて（Lovee 内引出し連動タイプのみ）

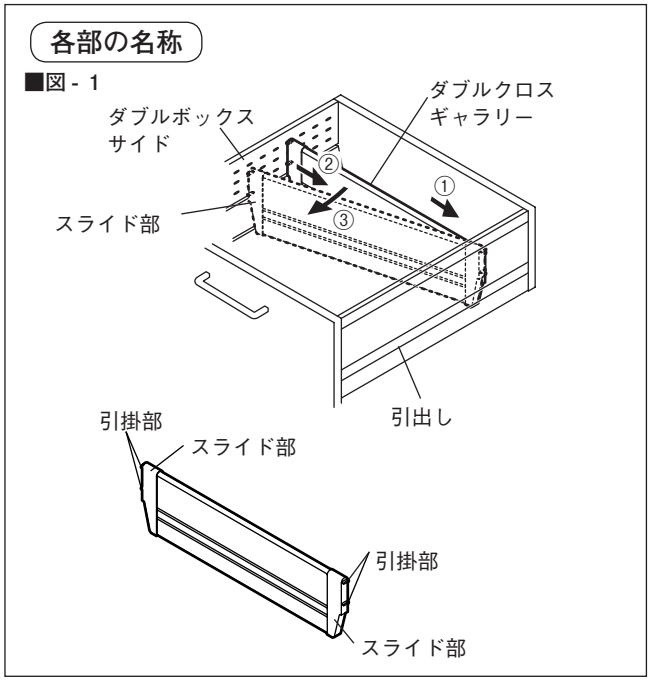
サポート収納タイプには収納物に合わせてお好みの位置に取付けられる間仕切り (ダブルクロスギャラリー、ダブルデバイダー) を付属してます。



ダブルクロスギャラリーの取外し、取付けをするには（Lovee 内引出し連動タイプのみ）

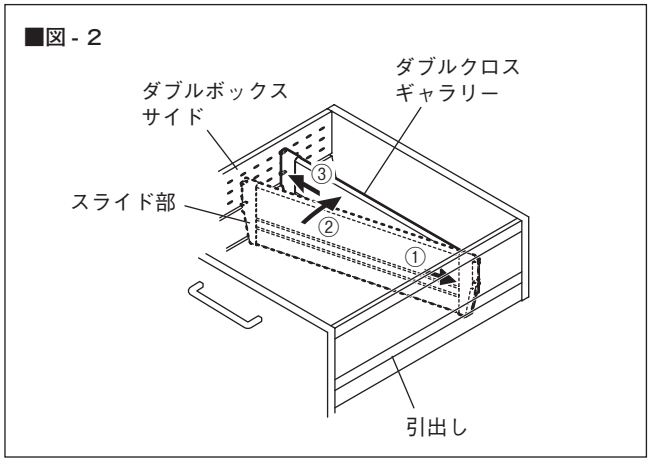
取外し方法（図－１）

ダブルクロスギャラリーのスライド部を片側に押しながら、ダブルボックスサイドから取り外してください。



取付け方法（図－２）

ダブルクロスギャラリーのスライド部を片側に押しながら、引掛部をダブルボックスサイドの取付穴に合わせて取付けてください。

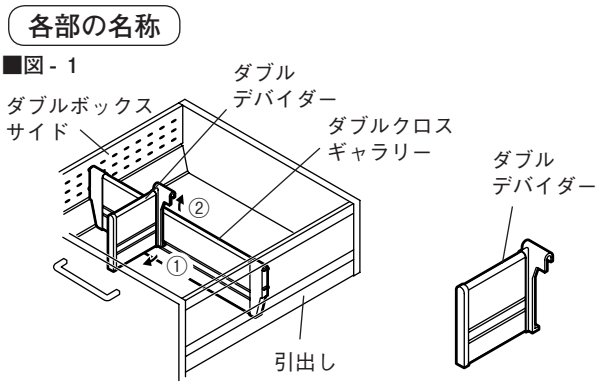


4．ご使用方法（続き）

ダブルデバイダーの取外し、取付けをするには（Lovee 内引出し連動タイプのみ）

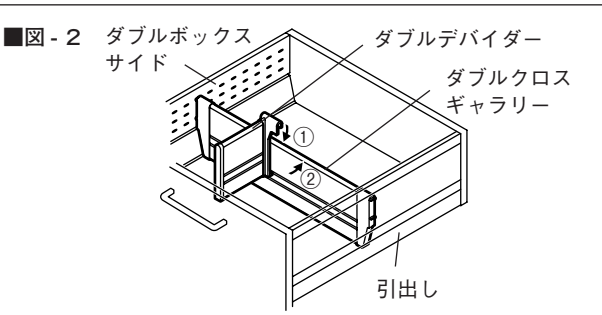
取外し方法（図－１）

ダブルデバイダーの下側を引きながら上に持ち上げてダブルクロスギャラリーから取り外してください。



取付け方法（図－２）

ダブルデバイダーをダブルクロスギャラリーの上にのせて、ダブルデバイダーの下側をダブルクロスギャラリーにはめ込んでください。

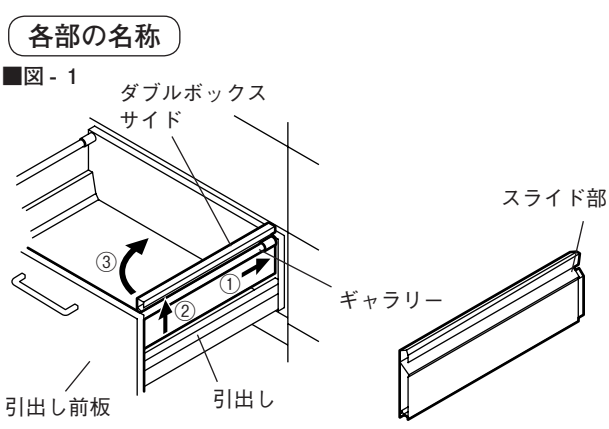


ダブルボックスサイドの取外し、取付けをするには（Lovee 内引出し連動タイプのみ）

取外し方法（図－１）

①ダブルボックスサイドを奥方向へ押しながら上に持ち上げて、ギャラリーから取り外してください。

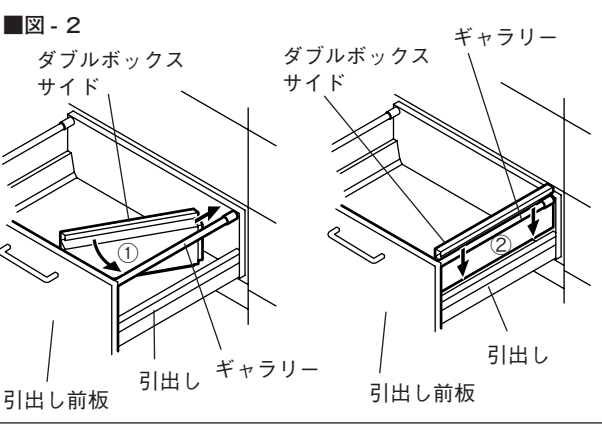
②奥側を支点にしてダブルボックスサイドを、内側に倒しながら取り外してください。



取付け方法（図－２）

①スライド部を奥側に押し付けながら、引出し上部にダブルボックスサイドの下部を合わせてください。

②ギャラリーにガチャと音がするまで差し込んで取付けてください。



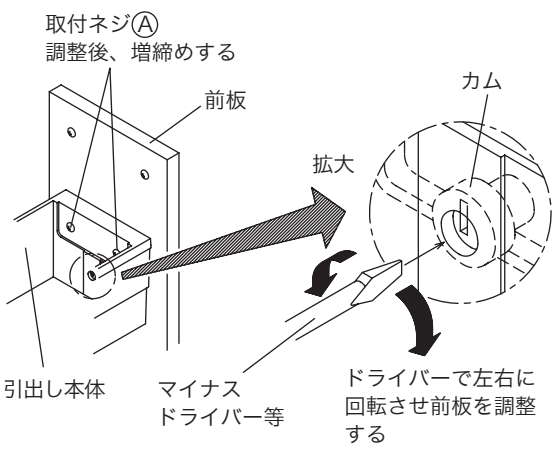
コンロ脇小引出し前板の調整方法（Lovee シリーズのみ）

前板を片手で押さえながら、引出し本体と前板を締めている取付ネジⒶ（２ヶ所）をゆるめ、前板の上下左右位置や傾きを調整し、ネジを軽く締めます。

必要な場合、引出し本体の内側の開口部から見えるカムをマイナスドライバー等で左右に回転させることにより、前後の左右微調整ができます。

調整が完了したら、ネジを増締めしてください。

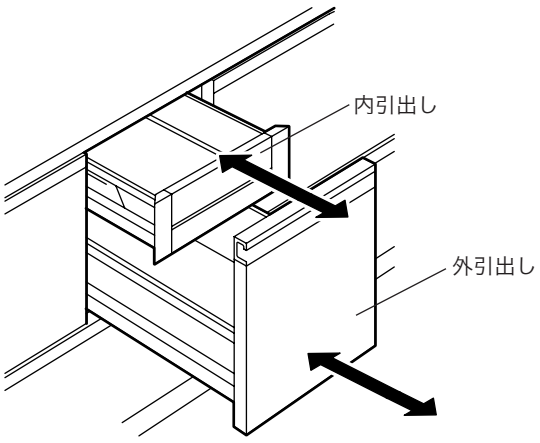
各部の名称



内引出しについて（Lovee 内引出し連動タイプのみ）

外引出しの開閉に合わせて内引出しを連動させることができます。

各部の名称



お　願　い

●内引出しを急激に開閉しないでください。

外引出しに干渉し引出しおよび引出し内の収納物が破損するおそれがあります。

4．ご使用方法（続き）

棚板の高さを変えるには

● 棚板の高さを変える際は、以下の要領で行ってください。製品によっては高さを変えられない機種や棚受けの形状が異なる機種もあります。

取外し方法（図－1）

棚板を上方向に持ち上げて、取り外してから、左右で計4ヶ所の棚受けを矢印の方向に引抜いてください。プルダウンラック付吊戸棚の場合は、棚受け前部のツメを外してから棚板を外してください。

⚠ 注　意

●棚板の高さを変える際には、棚板上だけでなく、キャビネット内の収納物すべてを降ろしてから行う。

収納物が落下して、けがをするおそれがあります。

●棚板端のミゾよりも少し内側に手を添えて持ち上げる。

棚板と棚受けの間に手がはさまって、けがをするおそれがあります。

取付け方法（図－2）

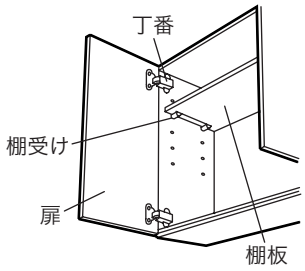
左右で計４ヶ所の棚受けを希望の高さに合わせ、矢印の方向に押し込んでから､棚板を載せてください。

⚠ 注　意

●棚受けは、４ヶ所同じ高さにセットする。

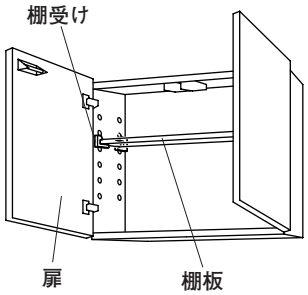
棚板が安定せず、外れて上の収納物が落下して､けがをするおそれがあります。

各部の名称

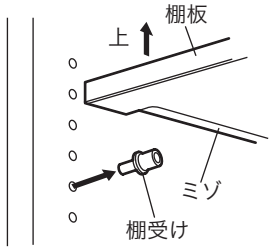


各部の名称

プルダウンラック付吊戸棚

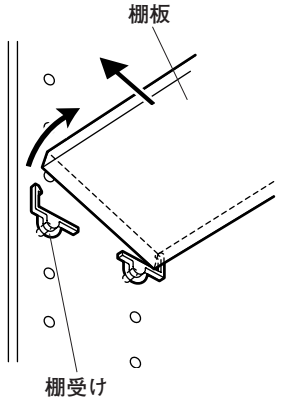


■図 - 1

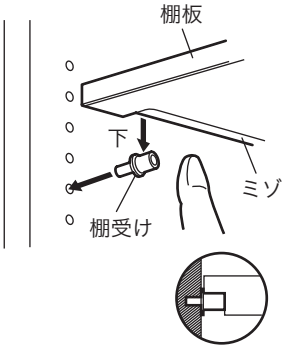


■図 - 1

プルダウンラック付吊戸棚



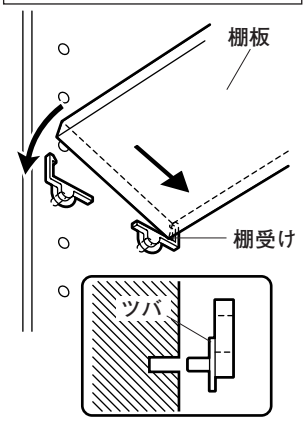
■図 - 2



棚受けにはツバがついています。棚板は棚受けが抜けないようにツバを挟み込んで固定してください。

■図 - 2

プルダウンラック付吊戸棚

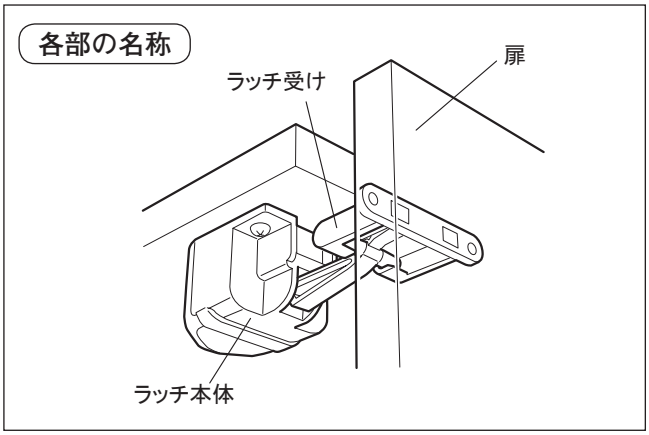


棚受けにはツバがついています。棚板は棚受けが抜けないようにツバを挟み込んで固定してください。

ロック機構付きキャビネットについて

地震などの揺れを感知して扉を自動的にロックし、収納物の飛び出しを防ぎます。

※ 設置状態、収納物、振動の状況等によっては、性能を十分に発揮できない場合があります。

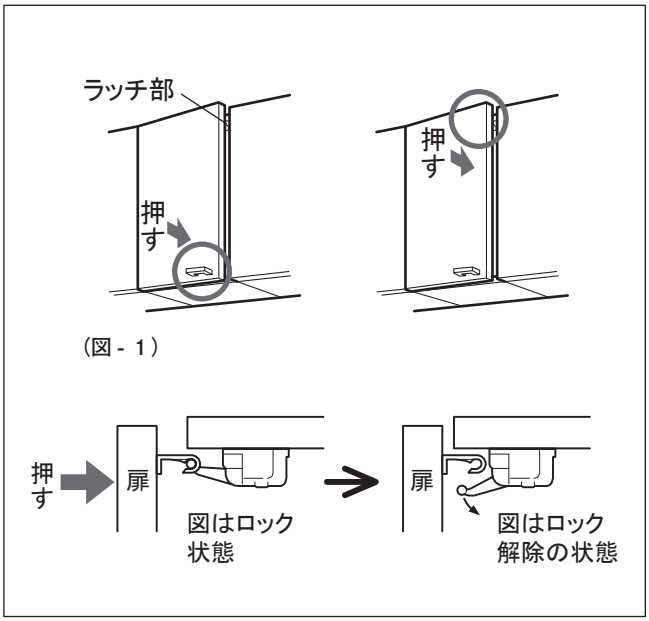


ロック機構の解除方法

ロックが作動し扉が開閉できなくなった場合は、「カチッ」と音がするまで扉の下部または扉の上部を強く押して下さい。（図 - 1）

※解除されない場合は、扉の下にタオルを当て、持ち上げるようにして扉の上部を押し込んでください。

●地震で躯体（壁や床など）にゆがみが生じている場合は、正常に解除できないおそれがあります。
●一度解除しても、また開かなくなる場合は、キャビネットが傾いている可能性があります。
設置店へ連絡してキャビネットの水平・垂直を出してください。



⚠ 注　意

●ラッチ本体を外したり、分解しない。

ロック機構が、有効に働かなくなるおそれがあります。

●キャビネットに収納物をのせすぎない。

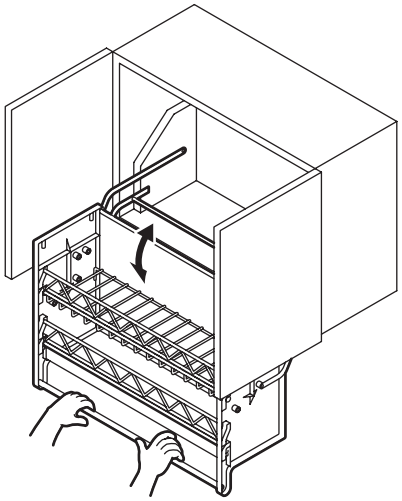
キャビネットが変形しロック機構が作動し扉が開かなるなくなるおそれがあります。

スイングダウンウォール付吊戸棚について

使用方法

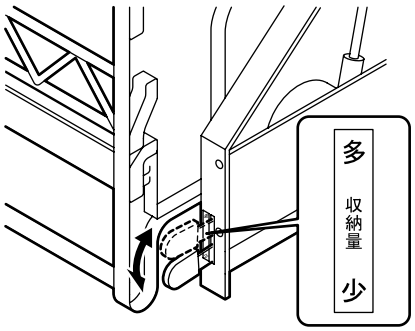
収納カゴの昇降方法

● 扉を完全に開き、両手で昇降ハンドルを持って
ゆっくりと出し入れしてください。

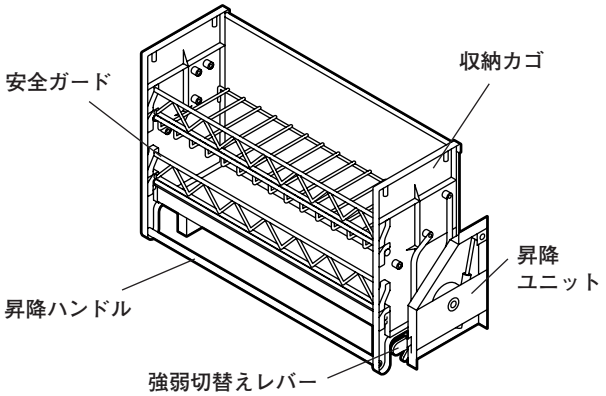


収納量による強弱切替えレバーの操作

● 右の表を目安に強弱切替レバーを収納量に応じて
調節し、適切な範囲で使用してください。
また、収納物の出し入れの後には必ず操作性を
確認して必要があれば調節してください。



収納カゴ各部の名称



収納重量 / レバー	左レバー	右レバー
約 0 ～ 5 kg	少	少
約 4 ～ 9 kg	少	多
	多	少
約 10 ～ 15 kg	多	多

● 衝撃が無く、下まで降下する状態がそのレバー
設定の目安です。
● 収納カゴがおさまっている時に、レバーの切替
をしてください。
（収納カゴが下がっている時には、レバーは
切替えできません。）

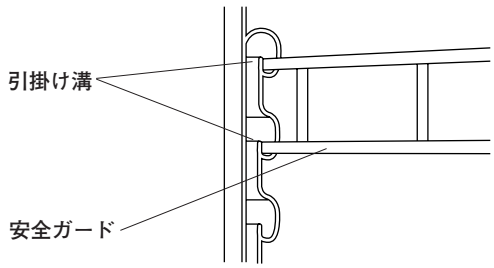
安全ガードの移動方法

安全ガードを両手で持ち､上下に移動させて
ください。安全ガードの両端は確実に、
引掛け溝に入れてください。

⚠ 注　意

● 収納物の落下防止のため、
必ず安全ガードをかける。

棚板が安定せず、外れて上の収納物が
落下して、けがをするおそれがあります。



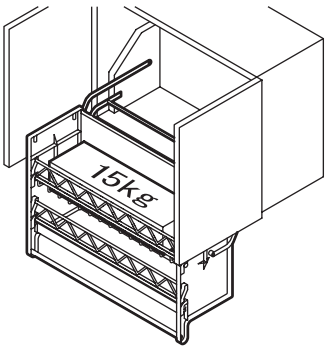
4．ご使用方法（続き）

スイングダウンウォール付吊戸棚について（続き）

※スイングダウンウォール付吊戸棚をご使用の際に次のことに注意してください。

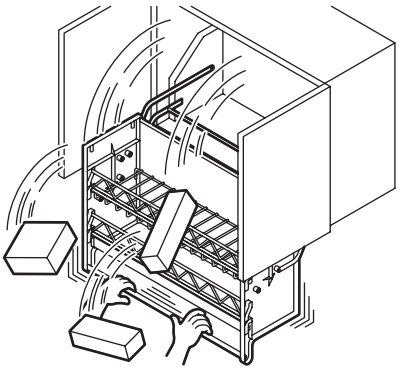
⚠ 注　意

●スイングダウンウォールの収納カゴには、
15 kg以上載せない。
（直径 20cm 程度の皿（約 500 g）30 枚までを目安としてください。
但し、皿の材質、形状により異なります。）



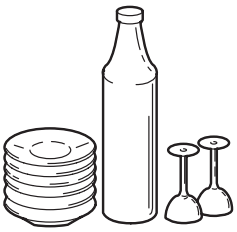
スイングダウンウォールが壊れ、収納物が飛び出してくることによりけがをする危険があります。

●スイングダウンウォールの収納カゴの操作は、
ゆっくりと行う。



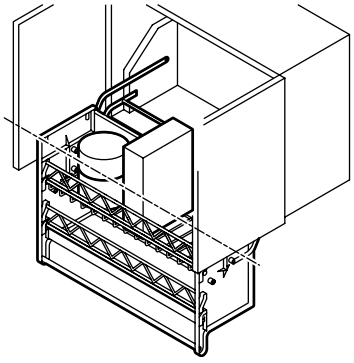
故障の原因や収納物が落ちてけがをする危険があります。

●ビンなどの不安定なものや、すべりやすいものは収納しない。



収納カゴを上げ下げした際、収納物が落ち、
けがをする危険があります。

●収納物が、収納カゴ側板の高さより上へ出たり、
収納カゴの底面、背面のすきまからズレださないように収納する。



収納カゴを上げ下げした際、収納物が吊戸棚本体に当たることにより収納物が飛び出し、けがをする危険があります。

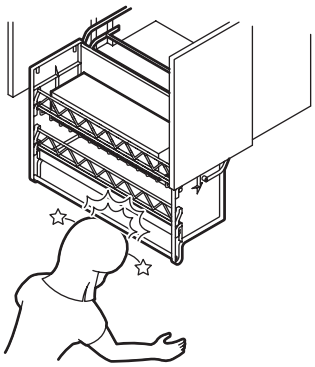
4．ご使用方法（続き）

スイングダウンウォール付吊戸棚について（続き）

※スイングダウンウォール付吊戸棚をご使用の際に次のことに注意してください。

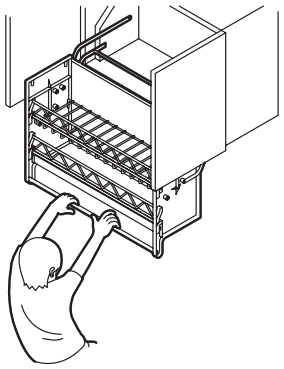
⚠ 注　意

● 調理作業時に収納カゴを降ろしたまま放置しない。



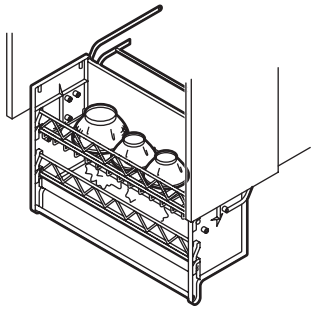
収納カゴに頭などをぶつけ、けがをする危険があります。

● スイングダウンウォールの昇降ハンドルにぶらさがらない。



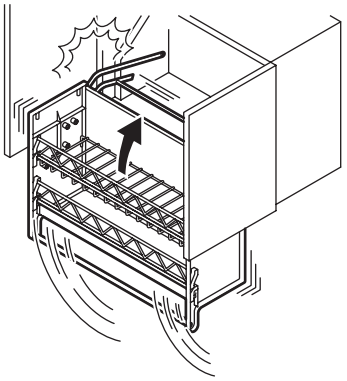
スイングダウンウォールや、収納物が落ちてけがをする危険があります。

● スイングダウンウォールの収納カゴにぬれたものを収納しない。



スイングダウンウォール機器にサビが発生して故障の原因になります。

● 強弱切替えレバーは収納重量に対して適切にセットする。



無積載の時、レバーを（多・多）にしないでください。
収納カゴが勢いよく戻ります。
15 kg積載時レバーを（少・少）にしないでください。
収納カゴが急降下してけがをするおそれがあります。

プルダウンラック付吊戸棚について

使用方法

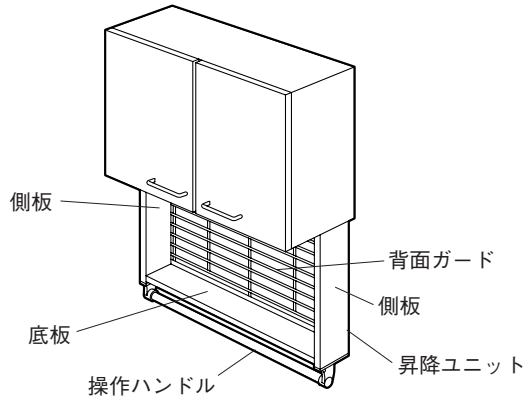
①昇降ユニットを降ろす（図－１）

操作ハンドルの中央付近をしっかり握り、ロック状態のままゆっくり下に引き降ろします。
（降ろす際は、特にハンドルを手前に引く必要はありません）
※積載物が軽い場合、強く引く必要があります。

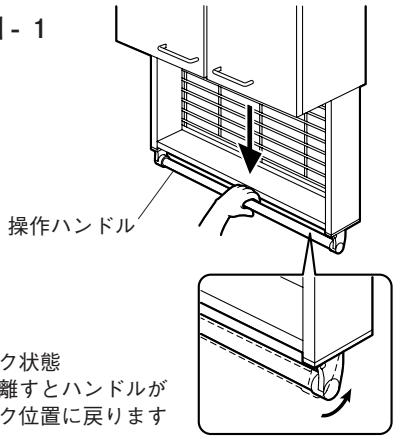
②収納ユニットを上げる（図－２）

操作ハンドルの中央付近をしっかり握り、ハンドルを手前に引き、ゆっくりと昇降ユニットを上げます。
操作ハンドルから手を離す際は、操作ハンドルをロック状態に戻してから離してください。
※積載物が軽い場合、収納カゴが急激に引き上げられますので特に注意してください。

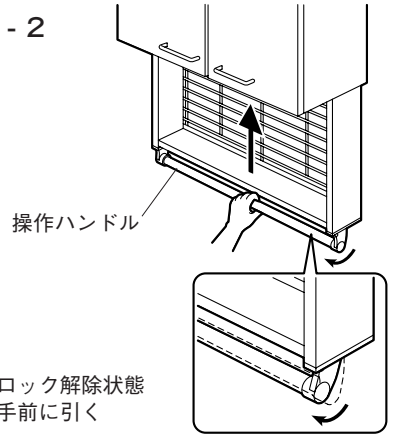
各部の名称



■図 - 1



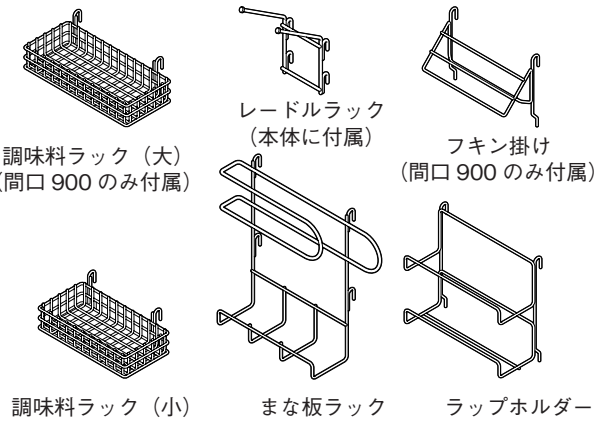
■図 - 2



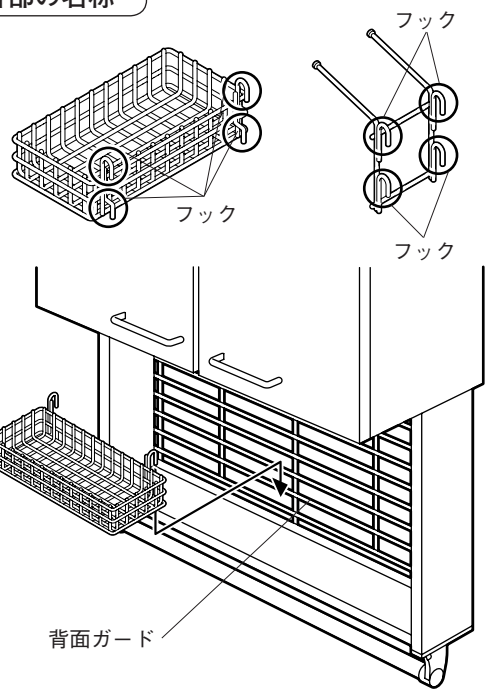
●ラック類の取付け

プルダウン用のラック類には４ヶ所のフックがあります（２タイプ）。昇降ユニットの背面ガードに４ヶ所のフックを確実に引っかけて使用してください。
※ 市販品のラック類を取付けないでください。
キャビネットと干渉し、収納物が落下するおそれがあります。

各種ラック類の名称



各部の名称



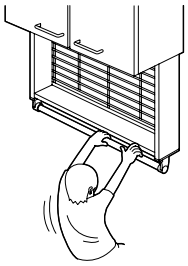
4．ご使用方法（続き）

プルダウンラック付吊戸棚について（続き）

※プルダウンラック付吊戸棚をご使用の際に次のことに注意してください。

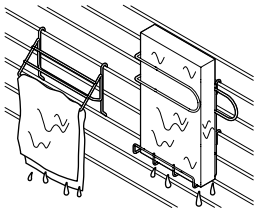
⚠ 注　意

●昇降ユニットやハンドルにぶらさがらない。



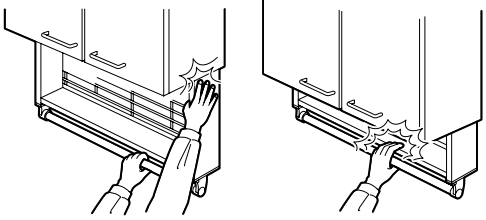
昇降ユニットや収納物が落ちてけがをするおそれがあります。

●昇降ユニットやラック類にぬれたものを収納しない。



サビが発生して故障の原因になります。

●昇降時にキャビネットとのすき間に手を入れない。



指をはさみ、けがをするおそれがあります。

●昇降ユニットを降ろすときは、下部にものがないことを確認する。
（約 45 ㎝下がります。）

ものに当たって収納物が落下し、けがをするおそれがあります。

●昇降ユニットを昇降させるときは、ハンドルの中央付近をしっかり握りゆっくり操作する。
上昇させるときは必ず手を添えたままゆっくり操作する。

急激な操作を行うと、収納物が落下しけがをするおそれがあります。

●許容積載量以上は収納しない。

サイズ	W900用	W450用	W300用
許容積載量	3.0kg	1.5kg	1.0kg

許容積載量は付属の小物ラック類を除く積載物の重量をしめす。

許容積載量を超えた場合、昇降ユニットをキャビネット内に収められません。無理に収めると昇降ユニットが降下し、収納物が落下し、けがをするおそれがあります。

4．ご使用方法（続き）

プルダウンラック付吊戸棚について（続き）

※プルダウンラック付吊戸棚をご使用の際に次のことに注意してください。

⚠ 注　意

●収納物は昇降ユニット側板の高さ以内に、また奥行きは底板から
はみ出さないこと。

収納物がキャビネットと当たって落下し、けがをするおそ
れがあります。

●操作ハンドルに物を掛けたり、つるしたりしない。

昇降操作を阻害し、異常な動作につながり、危険や故障を引き起こすおそれがあります。

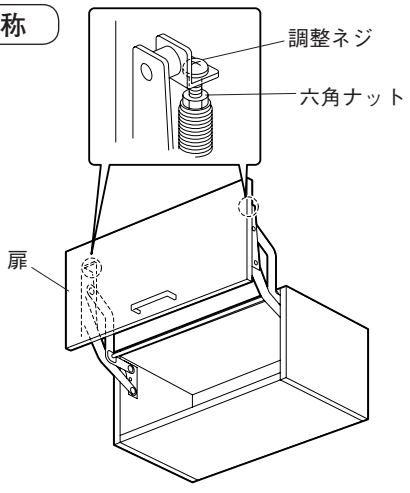
スイングアップステー付吊戸棚　扉の調整方法

扉開閉の時、扉が勢いよく開いてしまったり閉じてしまう場合や、扉を開けた時、扉が自重により下がってきてしまう場合は、下記要領にて調整をおこなってください。

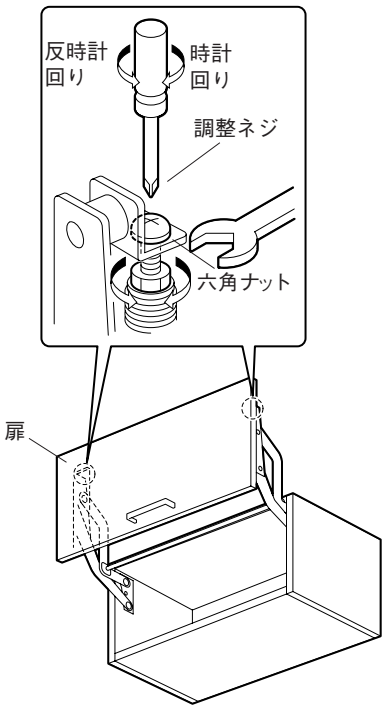
スイングアップステー付吊戸棚
扉の調整方法

① 扉を開け、左右の六角ナットをゆるめてください。
② 扉が勢いよく開閉してしまう場合は、左右の調整ネジを反時計回り方向に回してください。
扉が自重により下がってきてしまう場合は、左右の調整ネジを時計回り方向に回してください。(図－1)
③ 調整後、左右の六角ナットを締めつけてください。
※左右のAの部分の長さが同じくらいになるようにしてください。(図－2)

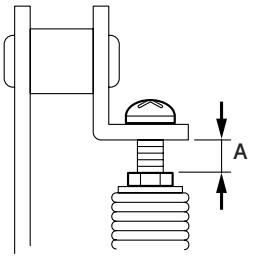
各部の名称



■図 - 1



■図 - 2



4．ご使用方法（続き）

フラップ吊戸棚について

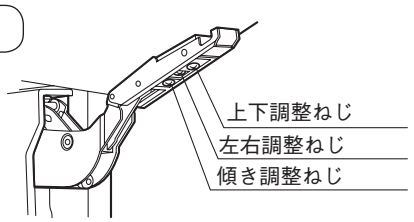
扉の調整方法

● 上下の調整をする場合（図－１）
プラスドライバーを使って上下調整ネジを時計回りに回すと扉がＡ方向に動き、反時計回りに回すと扉がＢ方向に動きます。

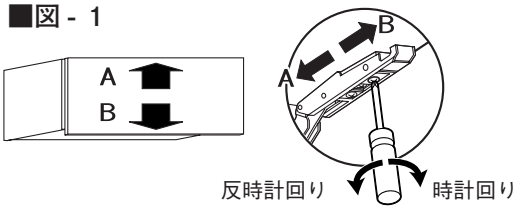
● 左右の調整をする場合（図－２）
プラスドライバーを使って左右調整ネジを時計回りに回すと扉がＡ方向に動き、反時計回りに回すと扉がＢ方向に動きます。（左右両方同じ調整量で調整する。）上下調整ネジを左（反時計回り）に回しすぎると、左右調整ネジにドライバーが差し込めなくなりますのでご注意ください。

● 傾き調整をする場合（図－３）
プラスドライバーを使って傾き調整ネジを時計回りに回すと扉がＡ方向に傾き、反時計回りに回すと扉がＢ方向に傾きます。

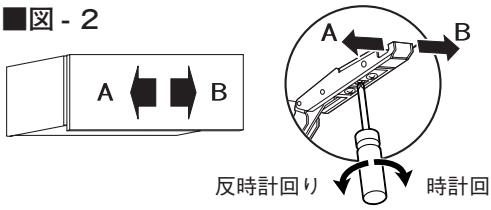
各部の名称



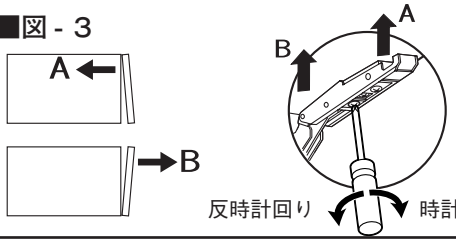
■図 - 1



■図 - 2



■図 - 3



扉の開閉具合の調整方法

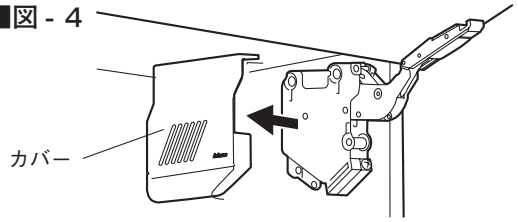
扉を約 90° に開いて、扉が自然に上がったり下がったりする場合には、扉開閉機構部を調整してください。

● カバーを取り外してください。（図－４）

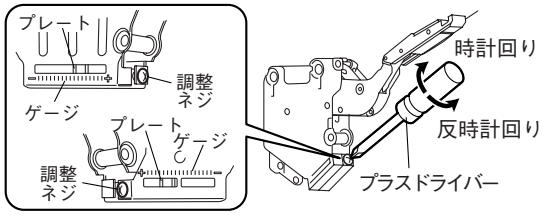
● 調整ネジを時計回りに回すとバネが強くなり、反時計回りに回すとバネが弱くなります。（図－５）
※ 左右で調整量が異なると、扉とキャビネットの隙間が左右で不均一になります。
ゲージ内のプレート位置を確認しながら左右の調整量を合わせ下さい。

● カバーを取付けてください。（図－６）

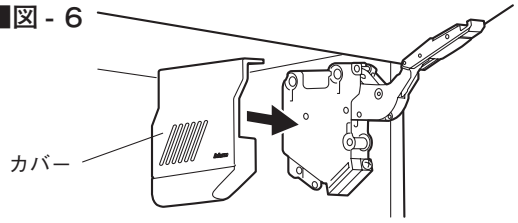
■図 - 4



■図 - 5



■図 - 6



大型引き戸付食器棚　扉の調整方法

● 扉の上下・傾きの調整をする際は、以下の要領で行ってください。

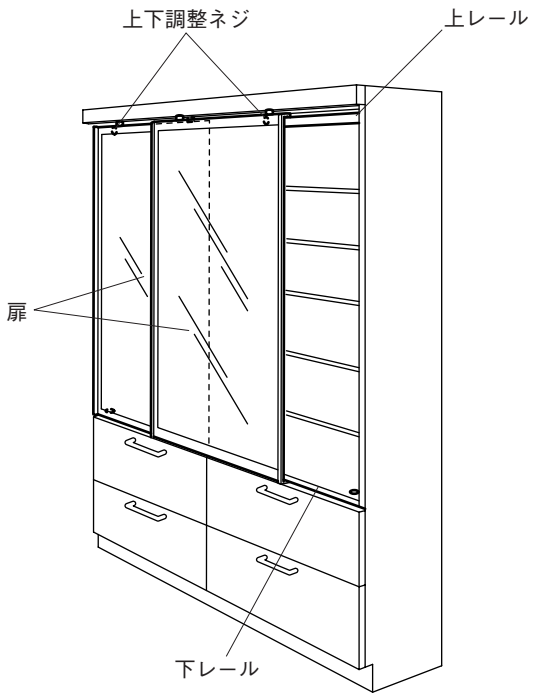
扉取付及び調整後の確認ポイント ── ①開閉時に扉がスムーズに操作できるか。

⚠ 注　意

● 開閉は、扉の中央部を持って行う。

扉の上側や下側を持って開閉を行うと、扉が変形し破損するおそれがあります。

各部の名称



扉の調整方法（上下・傾きの調整)(図－１)

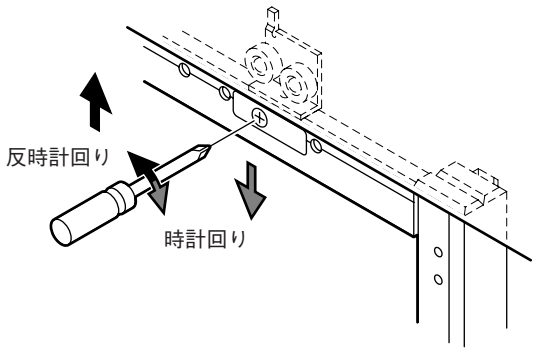
左右扉の外側のローラーの上下調整を行い取り外してください。

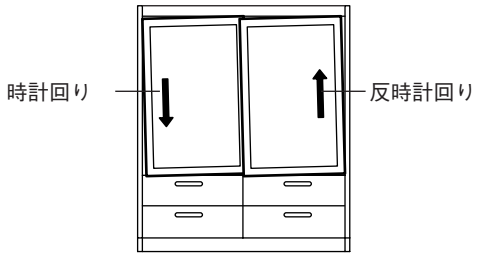
時計回し：扉の外側が下がる
反時計回し：扉の外側が上がる

※扉上下調整時の注意
- 調整を行う際には、電動ドリルは使用しないでください。
- 扉を 10 ㎜以上、下げると扉が落下する危険があるので限度を超えた調整を行わないでください。

左右の扉が干渉する場合は下ローラーの固定ネジを緩めて扉の前後調整を行ってください。

■図 - 1





⚠ 注　意

● 調整ネジを回しすぎない。

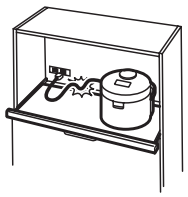
無理に回すと破損の原因になります。

4．ご使用方法（続き）

家電品収納庫について

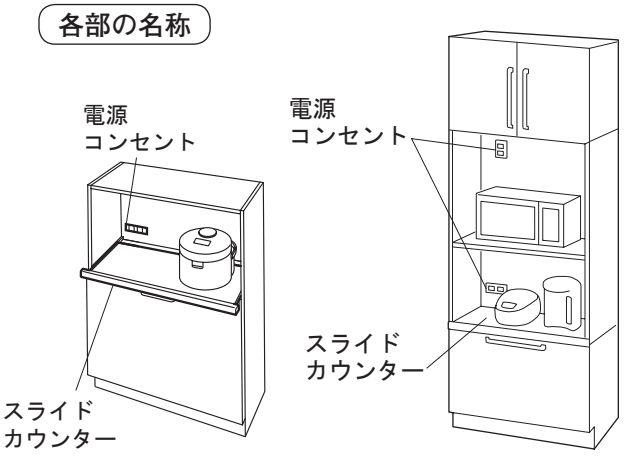
⚠ 警　告

● スライドカウンターを出し入れする際は、家電品の電源コードを挟み込まない。



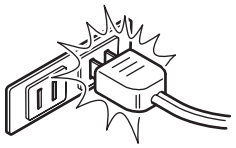
電源コードが断線し、漏電や火災の危険があります。

各部の名称



⚠ 警　告

● 家電品の電源プラグは確実に差し込んで使用する。



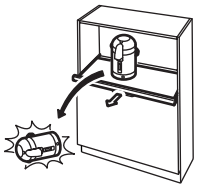
漏電や、火災の危険があります。

● 電源コンセントには 1 口で 1480W を超える電気器具を使わない。

火災のおそれがあります。

⚠ 注　意

● スライドカウンターを出し入れする際は、ゆっくり行う。



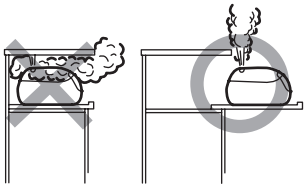
家電品が転倒・落下し、けがややけどをする危険があります。

● スライドカウンターに、15kg 以上の物を載せない。
スライドカウンターに、乗ったり、ぶらさがったりしない。

けがのおそれがあります。

お　願　い

● 家電品収納庫で炊飯器を使用するときは必ずスライドカウンターを引出して使用してください。



スライドカウンターを押し込んだまま炊飯しますと、キャビネット内に水滴が付き、割れ、フクレ等が発生するおそれがあります。

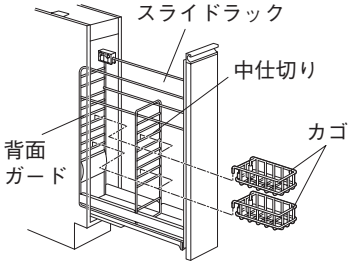
● 家電収納庫、カウンターユニットなどの上に電子レンジ等を設置する場合は、各機器の取扱説明書に記載された設置スペースを確保してください。

4．ご使用方法（続き）

スリムスライドキャビネットについて

● 同梱の２つのカゴは、背面ガードや中仕切りの好みの場所に掛けて使用いただけます。

各部の名称

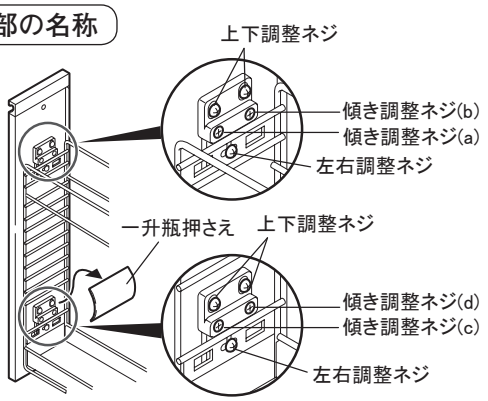


⚠ 注　意

● スリムスライドキャビネットのスライドラック部には合計５kg以上の物は乗せない。

● スリムスライドキャビネット前板の調整は、下記の要領に従って調整を行ってください。

各部の名称



⚠ 注　意

● 前板の調整に充電(電気)ドライバーは使用しない。

前板取付具が破損し、調整ができなくなるおそれがあります。

● 無理な力でネジ締めや調整を行わない。

前板取付具が破損し、調整ができなくなるおそれがあります。

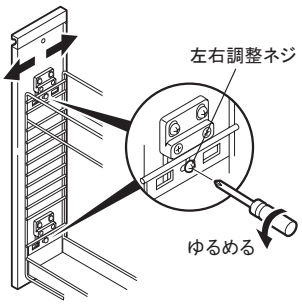
● 調整を行う前に前板側の一升瓶押さえを取り外してください。

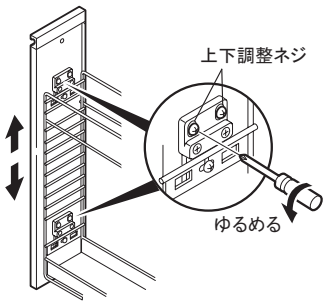
（1）左右傾きを調整する場合

左右調整ネジをゆるめます。
前板を左右に動かし、調整します。
調整後はネジをしっかり締め付けてください。

（2）上下の調整をする場合

上下調整ネジをゆるめます。
前板を上下に動かし、調整します。
調整後はネジをしっかり締め付けてください。



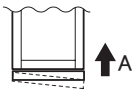


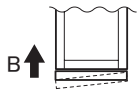
（3）傾きを調整する場合

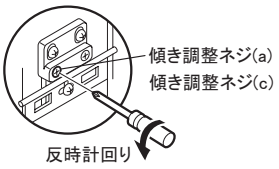
傾きを調整する際は、傾き調整ネジ(a)～(d)を回して行ってください。

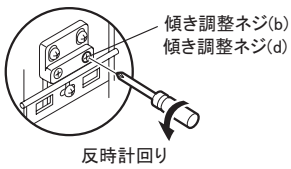
【左右傾きの調整】
調整ネジ(a)と調整ネジ(c)を反時計回りに回すと前板がA方向へ動き、調整ネジ(b)と調整ネジ(d)を反時計回りに回すと、B方向へ動きます。

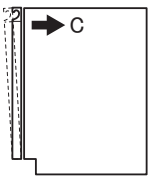
【上下傾きの調整】
調整ネジ(a)と調整ネジ(b)を反時計回りに回すと前板がC方向へ動き、調整ネジ(c)と調整ネジ(d)を反時計回りに回すと前板がD方向へ動きます。

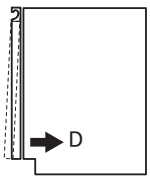


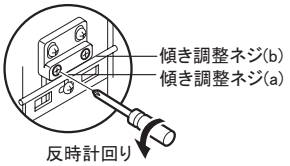


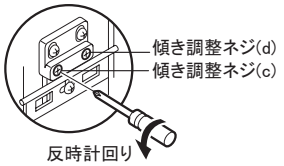












⚠ 注　意

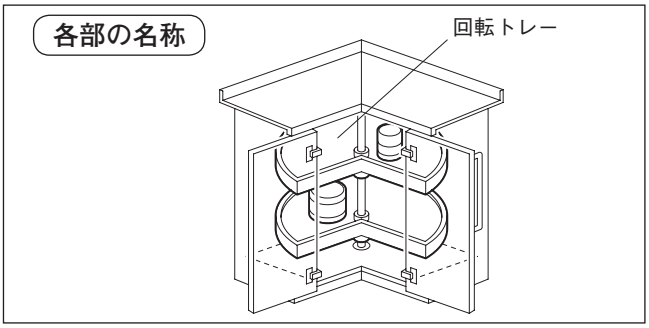
● 取付・設置完了後は、前板の傾き、ガタつき、調整ネジのゆるみがないことを確認する。

前板が落下してけがをするおそれがあります。

4．ご使用方法（続き）

回転トレーについて

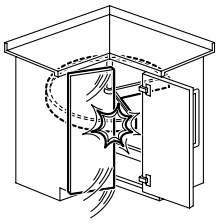
回転トレーの場合、コーナーキャビネット奥に物を収納する場合など、トレーを回転させてご使用になれます。回転トレーは上、下別々に回転します。



お　願　い

●扉を閉める場合は、回転トレーが収納状態で閉めてください。

扉をキズつけたり、収納物が落下するおそれがあります。



⚠ 注　意

●回転トレーの上には下段、上段とも５kg以上の物は乗せない。

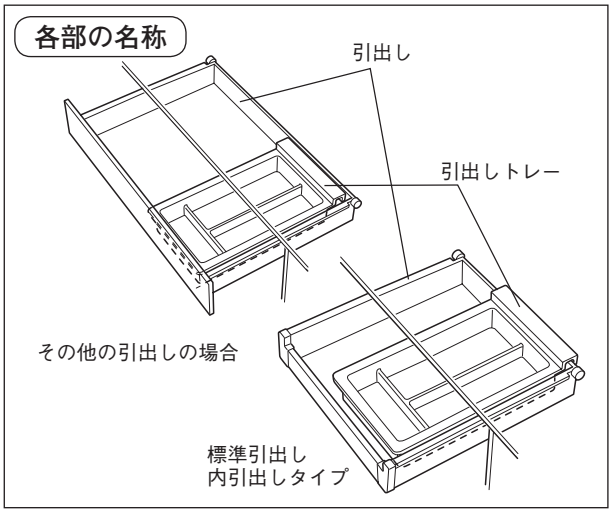
●収納物を出し入れする際は、ゆっくり回してご使用ください。
収納物が落下するおそれがあります。

引出しトレーについて

スライド収納タイプには引出しトレーが付属されています。
（エクセリアLovee・WSシリーズ）
カトラリー類の整理にご使用ください。

⚠ 注　意

●樹脂を傷める洗剤、溶剤などを付着させない。
トレーが変色・変質したり、割れるおそれがあります。

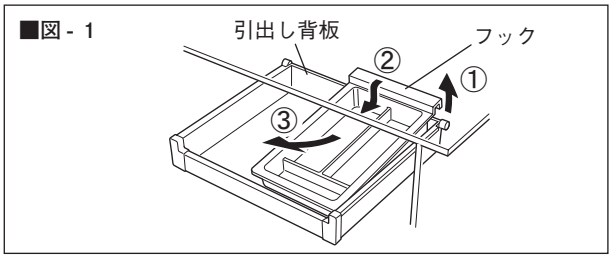


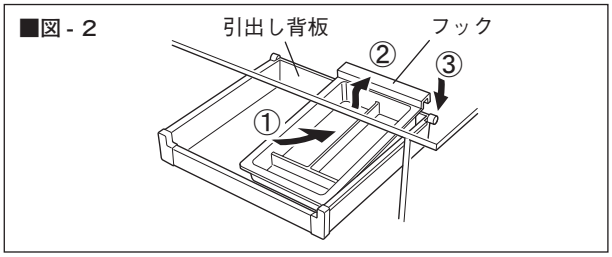
● 引出しトレーの取外し、取付けをする際は、以下の要領で行ってください。
※ 引出しタイプごとの形状は、「P9. ４.ご使用方法 引出しのタイプ」を参照ください。

【標準引出し（引出しタイプB）】
○内引出し付の場合

取外し方法（図－１）
① 引出しトレーのフックを引出し背板から外し、手前側にずらしながら引出しトレーを取り外してください。

取付け方法（図－２）
② 引出しトレーのフックを引出し背板に引っ掛けて、取り付けてください。





4．ご使用方法（続き）

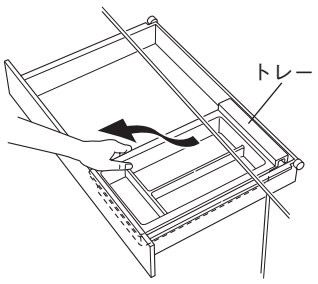
引出しトレーについて

○ ３段引出しの場合

取外し方法（図－３）

① トレーを上に持ちあげて取り外してください。

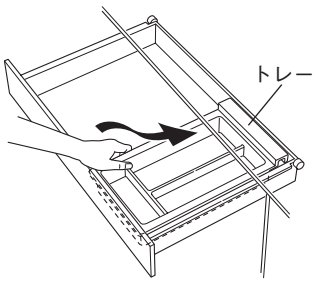
■図 - 3



取付け方法（図－４）

① トレーを右図のように設置してください。

■図 - 4



【ハイグレード引出し（引出しタイプC）】

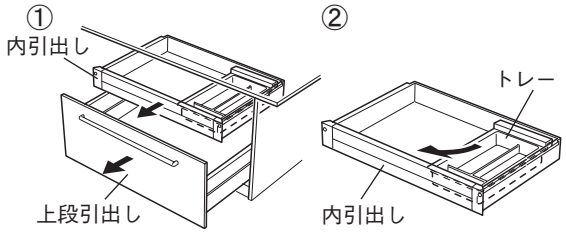
○ 内引出し付の場合

取外し方法（図－５）

① 内引出し及び上段引出し内の収納物をすべて出し、引出しを取り外してください。
（P12. 引出し（Cタイプ）の取外し方法参照）

② 内引出しからトレーを取り外してください。

■図 - 5

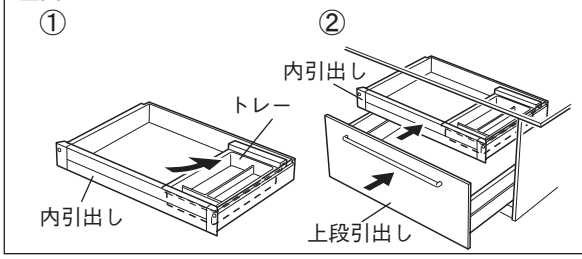


取付け方法（図－６）

① キャビネットから内引出しと上段引出しを外した状態で、右図のように内引出しにトレーを設置してください。

② 内引出し⇒上段引出しの順に、引出しをキャビネットに取り付けてください
（P12. 引出し（Cタイプ）の取外し方法参照）

■図 - 6

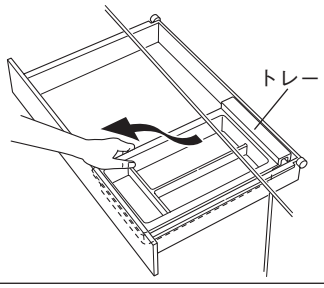


○ ３段引出しの場合

取外し方法（図－７）

① トレーを上に持ちあげて取り外してください。

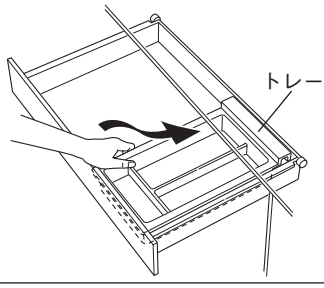
■図 - 7



取付け方法（図－８）

① トレーを右図のように設置してください。

■図 - 8

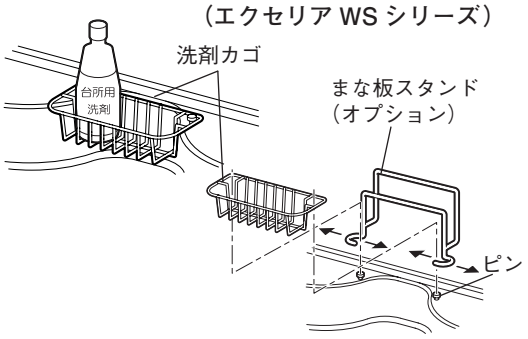


4．ご使用方法（続き）

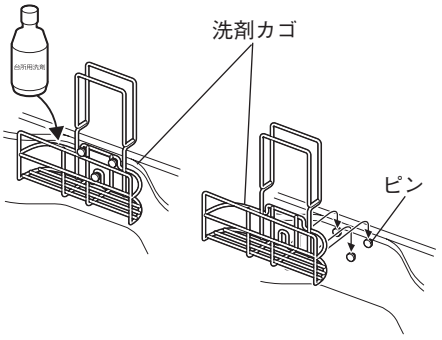
洗剤カゴについて

脱着の出来る洗剤カゴがついています。洗剤の置き場等にご使用ください。
まな板スタンド (オプション) がある場合は、洗剤カゴと共にピンに取付けてください。

各部の名称
●ステンレスシンク
●人造大理石シンク
（エクセリア WS シリーズ）



各部の名称
●人造大理石シンク
（エクセリア Lovee シリーズ）



5．お手入れ方法

- 汚れはお手入れが早いほど、簡単に落ちます。
  こまめなお手入れがきれいにお使いいただける秘訣です。
- 下記以外の機器のお手入れについては、それぞれの機器に付属の「取扱説明書」をご覧ください。

ステンレスシンク・ナノテクトコーティングシンク

毎日のお手入れは、研磨剤を含まないやわらかいスポンジまたは、やわらかい布で、水洗いまたは台所用中性洗剤をつけて汚れを落とし、水で良く洗剤を洗い流してから、最後にカラ拭きで水分を良くふき取ってください。

台所用中性洗剤

人造大理石シンク

毎日のお手入れは、研磨剤を含まないやわらかいスポンジまたは、やわらかい布で、水洗いまたは台所用中性洗剤をつけて汚れを落とし、水で良く洗剤を洗い流してから、最後にカラ拭きで水分を良くふき取ってください。アルミ鍋などがこすれて跡が残ったときは、市販のメラミンスポンジに水を含ませてこすってください。

台所用中性洗剤

汚れが落ちにくい場合は、研磨剤を含まないやわらかいスポンジに台所用クリームクレンザーを付けて汚れを落とし、水で良くクレンザーを洗い流してから、最後にカラ拭きで水分を良くふき取ってください。

台所用クリームクレンザー

がんこな汚れ（水あか・もらいサビ）は市販のナイロンタワシに水を含ませて、汚れが気になる部分を軽くこすってください。
仕上げに、スポンジに台所用クリームクレンザーを付けて軽くこすり、水で良くクレンザーを洗い流してから、最後にカラ拭きで水分を良くふき取ってください。

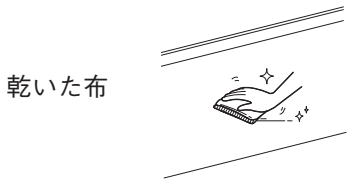
ナイロンタワシ

注）クリームクレンザーやナイロンタワシの使用は、予め目立たない場所で試してからご使用し、必要時のみで常用はお避けください。

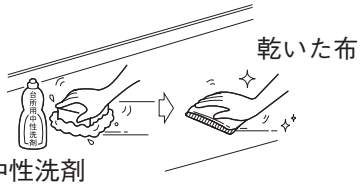
5．お手入れ方法（続き）

ステンレスワークトップ

使用後はよく、水洗いし、乾いた布等で拭きとってください。

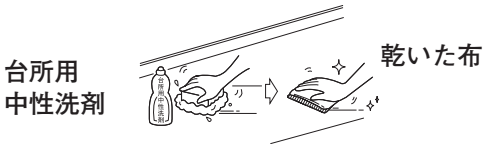


塩分や油脂分の汚れは、スポンジ等に台所用中性洗剤を含ませて拭いたあと、乾いた布等で拭きとってください。

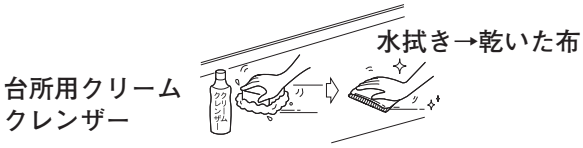


人造大理石ワークトップ

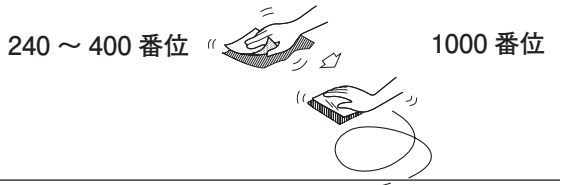
日常のお手入れは、スポンジ等に台所用中性洗剤を含ませて拭いたあと、乾いた布等で拭きとってください。



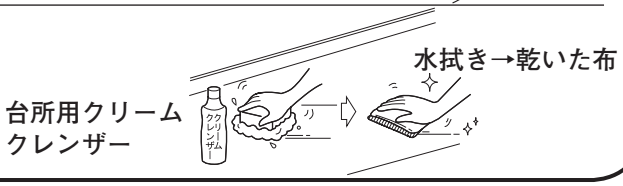
汚れが落ちにくい場合は、台所用クリームクレンザーで汚れを落とし、水拭き後、乾いた布等で拭きとってください。



表面に傷がついた時は、細かいサンドペーパー(400 番位）で磨いてください。傷が深い場合は粗いサンドペーパー(240 番位）で磨いた後、400 番位で磨き、更にナイロンタワシか水磨ぎペーパー 1000 番で軽く孤を描く様に仕上げてください。



以上のお手入れで光沢が均一でなくなった時は、台所用のクリームクレンザーで均一に磨き、水拭き後、乾いた布等で拭きとってください



メラミンカウンター・扉・キャビネット・引出しトレー・キッチンパネル

- 軽い汚れは柔かい布で軽く拭いてください。
- 汚れのひどい時は、スポンジ等に台所用中性洗剤を含ませて軽く拭き、軽く水拭きし、乾いた布等で拭きとってください。
- 水がかかった時は、乾いた布等で拭きとってください。放置すると扉・キャビネットがふくれるおそれがあります。

お　願　い

- クレンザー、硬いタワシなどは扉に傷をつけますので、使用しないでください。

- 台所用中性洗剤以外の洗剤・薬品・溶剤等を使用すると変色、変質の原因になりますので使用しないでください。

5．お手入れ方法（続き）

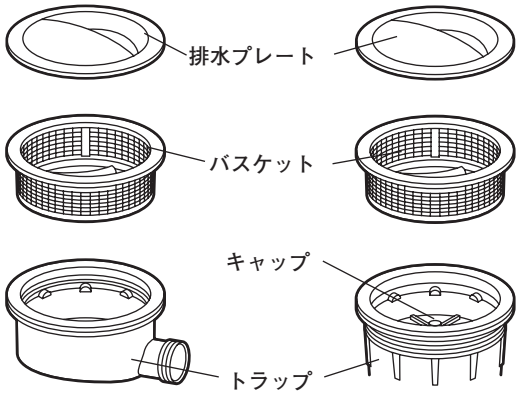
排水トラップ

週１回程度、排水プレート、バスケット、キャップ及びトラップ内部の汚れを、ぬるま湯または、台所用中性洗剤で落としてください。

各部の名称

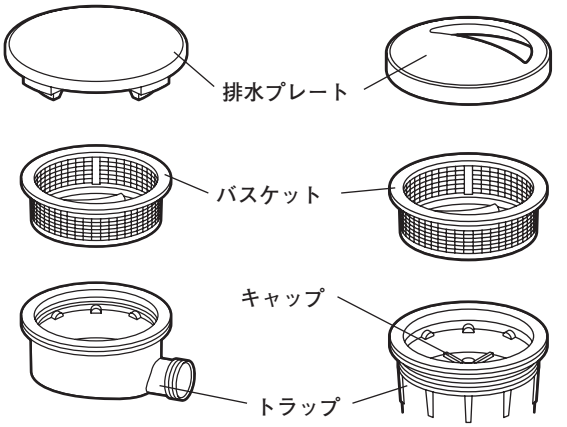
ステンレスシンク用

●エクセリアLoveeシリーズ　●エクセリアUS・WSシリーズ



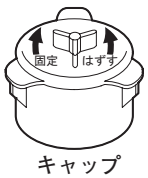
人造大理石シンク用

●エクセリアLoveeシリーズ　●エクセリアWSシリーズ



お　願　い

●排水トラップの清掃等キャップ、排水目皿を取外す際は「はずす」の方向に、取付ける際は、「固定」の方向に回して確実にセットしてください。



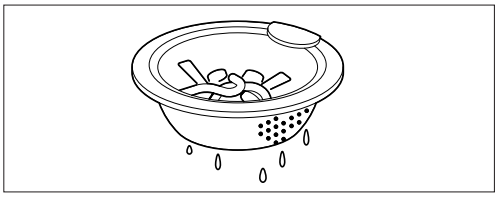
キャップ

排水管から臭いが上がってくるおそれがあります。

排水トラップ

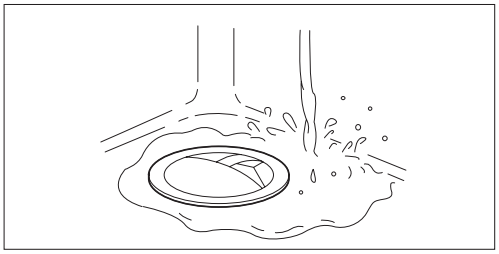
調理くずがたまった場合

バスケットを取り出し、水気を切ってから、中のくずを捨てます。くずをためすぎると、臭いの元になるばかりでなく、水の流れも悪くなります。



水槽に水をためる場合

排水プレートの上にフタをセットします。
（フタはオプション品です。）



お　願　い

●フタは完全水密ではありませんので、ためた水が少しずつ減っていく事があります。また、蛇口を閉め忘れたまま水をためますと、シンクより水があふれますのでご注意ください。

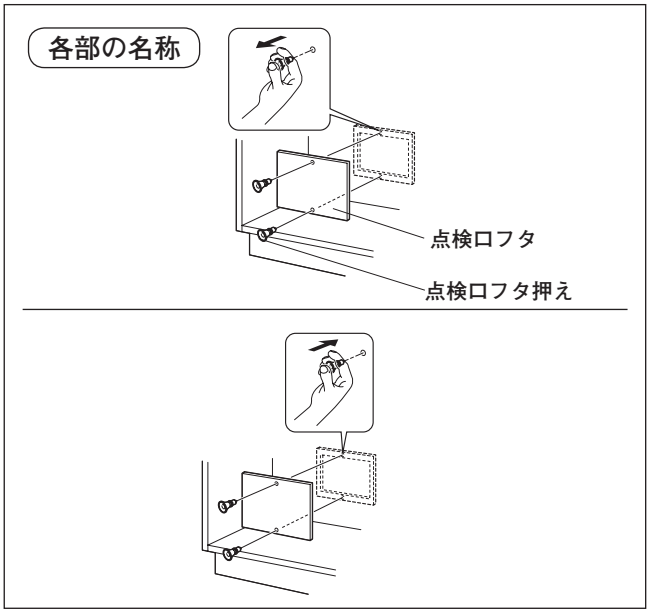
5．お手入れ方法（続き）

コンロキャビネット

点検口フタの取外し、取付け方法

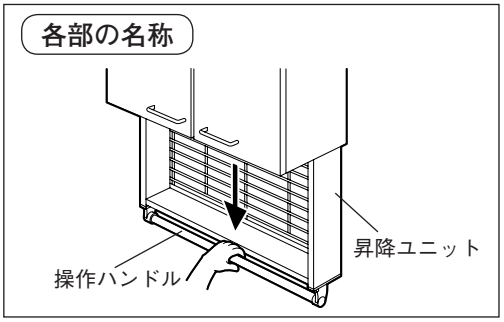
①取外し方法
キャビネット背面の点検口フタ押えを引き抜き、点検口フタを取り外してください。

②取付け方法
点検口フタの取付穴とコンロキャビネット背面の取付け穴位置をあわせて、点検口フタ押えを上下２ヶ所に押し込んで取り付けてください。
取り付けた後、点検口フタが外れないことを確認してください。



プルダウンラック付吊戸棚

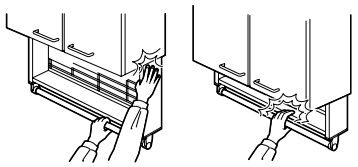
① 昇降ユニットを完全に降ろし、上昇しないように手で押えながら行ってください。
※ ハンドル部のお手入れは、昇降ユニットを降ろした状態で行わないでください。ロックが解除され、昇降ユニットが跳ね上り危険です。必ず収納状態でお手入れしてください。
② 本体の汚れは、台所用中性洗剤をぬるま湯でうすめてスポンジに含ませて拭き取ってください。
※アルカリ系・酸性系の洗剤の使用は避けてください。
③ 水拭きのあと、乾いた柔らかい布で拭いてください。
※ みがき粉・シンナー・ベンジンなどを使用しないでください。表面が変色する場合があります。



⚠ 注　意

● 昇降時に昇降ユニット本体を触らない。

指をはさみ、けがをするおそれがあります。



6．点検方法

水受けトレー・水受け容器

● ホース収納タイプのシャワー水栓をご使用の場合（水受けトレー不要タイプは除く）キャビネット背面には水受けトレーまたは水受け容器が設置されています。
水受けトレーに溜まった水を定期的に捨ててください。
長期間放置すると水受けトレーより水があふれるおそれがあります。

⚠ 注　意

● 給湯管及び湯側の止水栓に手をふれない。
高温のため、やけどをするおそれがあります。

7．仕様

商品名	製品本体に貼付けの銘板によりご確認ください。
製造企業名	株式会社ハウステック
ホルムアルデヒド発散区分	内装仕上げ部分及び下地部分とも F☆☆☆☆
表示ルール	「住宅部品表示ガイドライン」 キッチン・バス工業会表示指針による。
製造番号	製品本体に貼付けの銘板によりご確認ください。
ホルムアルデヒド 発散材料区分詳細	ＰＢ　F☆☆☆☆ ＭＤＦ　F☆☆☆☆ 合板　F☆☆☆☆ 接着剤　F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.housetec.co.jp

8．故障・異常の見分け方

● 故障・異常の見分け方と処置方法

現象	調べていただくところ	対処方法
扉がガタガタするとき	丁番のネジがゆるんでいませんか	8ページ参照
引出しがガタガタするとき	調整レバーがゆるんでいませんか	9～13ページ参照
扉が開かないとき	ロック機構が作動していませんか	18ページ参照
排水が詰まったり、 流れにくくなった	バスケットに野菜くずなどが詰まっていませんか	7、33ページ参照
熱湯をかけるとシンクが 「ボコッ」と音がする	これは異常ではありません ・熱湯によるステンレスの伸縮によるものです ・熱い油や多量の熱湯を流すと排水器具などが変形し水漏れの原因になることがあります	――――

■ 組み込まれる機器、水栓金具などはそれぞれの取扱説明書を確認してください。
■ 以上のことをお調べになり、それでも具合の悪い時は、すぐにお買上げの販売店にご連絡ください。

9．保障・点検・修理のご案内

保証と保証期間について

● このシステムキッチンには、無料修理保証書がついています。
本体・組み込み機器それぞれの保証書を確認してください。
● 無料修理保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたします。
記載内容をご確認いただき大切に保管してください。
● 保証期間中でも有料になることがありますので．ご了承ください。
(保証書に詳細を記載してありますので、そちらをご覧ください)
● 保証期間経過後の修理につきましては、販売店または営業所にご相談ください。

修理を依頼されるときは

● システムキッチンが正常に作動しないときは、35 ページの「故障・異常の見分け方」をご覧ください。
それでも正常に作動しないときはすぐに使用を中止し、36 ページのお問い合わせ窓口または、お買い求めの販売店にご相談ください。
● アフターサービスをお申し付けいただくときは、次のことをお知らせください。
① ご住所、お名前、電話番号
② 型式名：②ページ「各部の名称」のキャビネット銘板に記載されています。
③ 現象：できるだけ詳しくお知らせください。
④ 訪問ご希望日、道順（付近の目印も）

部品の最低保有期限

● 当社は、このシステムキッチンの補修用性能部品を、製造打切後、最低７年間保有しています。
但し、組み込み機器などの補修用性能部品最低保有期限は、それぞれの保証書に記載されている期間となります。
● 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
● 代替品対応部品：扉・引出し等の面材に関しては長期間の保存が技術的・品質的に困難なため、
同等代替品での対応となる場合があります。

廃棄処分について

●廃棄処分の際は必ず専門業者に依頼してください。

10. お問い合わせ窓口

お問い合わせの内容により、下記の窓口にご連絡ください。

商品のお問い合わせは（お客様相談窓口）	修理のご用命は	補修部品のご購入は（代引き販売窓口）
0120-80-1761	0120-10-2471	0120-45-5621
●受付時間 平日の9:00～17:30（但し12:10～13:00の間は除く） 土・日・祝祭日と年末年始・夏期休暇など弊社の休日は休ませていただきます。	●受付時間 365日 24時間	●受付時間 平日の9:00～17:30（但し12:10～13:00の間は除く） 土・日・祝祭日と年末年始・夏期休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

本取扱説明書の記載内容や製品の仕様は、改良のため変更することがあります。
あらかじめご了承ください。

11. 保証書

無料修理保証書

品　名	システムキッチン エクセリアLovee･WSシリーズ		※ 型式
保証期間	本体： 1 年 間	※お買い上げ日	年 月 日
※お客様	お名前： 様		TEL： （ ）
	ご住所：		
※販売店	住所・店名： TEL： （ ）		

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

見本

本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in japan

本書は、保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きにしたがった正常な使用状態で故障した場合に、本書記載内容にもとづき、無料修理をおこなうことを、お約束するものです。尚、本体組込機器に関する保証内容、保証条件などは、各々の保証に関する書面に従います。

上記の保証期間内に故障した場合には、お買い上げの販売店または別紙（同梱）のハウステックサービス網一覧の窓口にご依頼のうえ、本書をご提示ください。保証期間のお買い上げ日は、改修の場合は、改修部分の設置完了の日、分譲及び賃貸マンションの場合は、建築主様

1. 保証期間内でも、次のような場合には有料修理となります。
(イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障及び損傷。
(ロ) お買い上げ後の設置場所の移動、分解等による故障及び損傷。
(ハ) 取付・設置の不注意、過失による故障及び損傷。
(ニ) 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変、公害や異常水圧及び燃料、給水の供給事情による故障および損傷ならびに自然消耗。
(ホ) 商品、部品の経年変化または使用に伴う磨耗など。（たとえば扉塗装の色あせ、木製品のそり、ひび割れ、変色や樹脂部品の変質、変色など）
(ヘ) 一般家庭以外（たとえば業務用の長時間使用、車輌、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
(ト) 故障の原因が本機以外にある場合で改善を要するとき。
(チ) 本書のご提示がない場合。
(リ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
2. 離島または離島に準ずる遠隔地への出張修理を行なった場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. 本書は再発行しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または別紙（同梱）のハウステックサービス網一覧表の窓口にお問い合わせください。

株式会社 ハウステック

東京都板橋区板橋 3-9-7　板橋センタービル　〒173-0004　Tel. 03-5248-5500　www.housetec.co.jp

L34T0344IA